



FA統合ツールパッケージ

OMRON

プログラマブルコントローラ

SYSMAC

FA統合ツールパッケージ

CX-One Ver.4. ☐

形CXONE-AL ☐ ☐ D-V4

形CXONE-LT ☐ ☐ ☐ -V4

セットアップマニュアル

— おことわり —

- (1) 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。
- (2) 本マニュアルの内容に関しては、改良のため予告なしに仕様などを変更することがありますので、予めご了承ください。
- (3) 本マニュアルの内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気付きのことがありましたら、お手数ですが巻末記載の当社支店または営業所までご連絡ください。
その際、巻末記載のマニュアルNo.も併せてお知らせください。

— 商標 —

- ・ COMBICONは、フェニックス・コンタクト株式会社の登録商標です。
 - ・ Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ ODVA、CIP、CompoNet、DeviceNet、EtherNet/IPはODVAの商標です。
- その他、本文中に掲載しているシステム名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

— 著作権 —

スクリーンショットはマイクロソフトの許可を得て使用しています。

SYSMAC
FA 統合ツールパッケージ
CX-One Ver.4.□

形 **CXONE-AL□□D-V4**

形 **CXONE-LT□□□-V4**

セットアップマニュアル

はじめに

このたびは、FA 統合ツールパッケージ CX-One をご使用いただきありがとうございます。本書は、CX-One のインストール手順、およびシステム設計の基本操作について説明しています。

なお、CX-One ご使用の際には、CX-One 各周辺ツールのオペレーションマニュアル、および PLC 本体／各ユニットのユーザーズマニュアルをあわせてご参照ください。

対象となる読者の方々

本マニュアルは、次の方を対象に記述しています。

電気の知識（電気工事士あるいは同等の知識）を有する方で

- ・ FA 機器の導入を担当される方
- ・ FA システムを設計される方
- ・ FA 現場を管理される方

お願い

本マニュアルは、CX-One を使用する上で、必要な情報を記載しています。お使いになる前に本マニュアルをよく読んで、十分に理解してください。また、お読みになった後も本マニュアルは大切に保管して、いつも手元においてお使いください。

「ご承諾事項」

● 保証内容

(1)保証期間

本ソフトウェアの保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後 1 年といたします。ただし「カタログ等」に別途記載がある場合を除きます。

(2)保証範囲

- ・ 本ソフトウェアの使用許諾を受けたお客様が、上記保証期間中にコンピュータ・プログラムの瑕疵（マニュアルとの重要な不一致）を発見し、当社に返却した場合は、当社は瑕疵（当該マニュアルとの重要な不一致）のないコンピュータ・プログラムを記録した媒体と交換いたします。もしくは、当社の選択により、当社ホームページより瑕疵（当該マニュアルとの重要な不一致）のないコンピュータ・プログラムをダウンロードしていただく方法により提供いたします。また、当社の責任によるコンピュータ・プログラムの記録媒体の不良を発見し、当社に返却した場合、当社は、無償で、良品の媒体に記録したコンピュータ・プログラムと交換いたします。
- ・ 万一、当社がコンピュータ・プログラムの瑕疵（マニュアルとの重要な不一致）を除去できないと判断した場合は、お客様が本ソフトウェア購入代金として支払った金額をお返しいたします。

● 責任の制限

- ・前条に定める交換または購入代金の返金は、本ソフトウェアの保証責任のすべてを定めるものであり、当社は本ソフトウェアの瑕疵により発生した、お客様の直接的、間接的あるいは波及効果による損害等いかなる損害に対しても一切の責任を負いません。
- ・当社は、本ソフトウェアを当社以外の第三者が変更、改造することにより生じた瑕疵や、本ソフトウェアのインストールその他の使用によって当社商品、インストールされたソフトウェア、またはすべてのコンピュータ機器、コンピュータプログラム、ネットワーク、データベースがDDoS 攻撃（分散型 DoS 攻撃）、コンピュータウイルスその他の技術的な有害プログラム、不正アクセスを受けたことにより生じた損害につきましては、一切責任を負いません。
- ・当社は、本ソフトウェアに基づき、当社以外の第三者が開発したソフトウェアおよびそれにより生じた結果について一切の責任を負いません。

● 本ソフトウェアの用途

本ソフトウェアを本マニュアルに記載の用途以外の用途で使用しないでください。

● 仕様の変更

本ソフトウェアの仕様および付属品は改善またはその他の事由により、必要に応じて、変更される場合があります。

● 適用範囲

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。日本国外での取引および使用に関しては、当社営業担当者までご相談ください。

安全上のご注意

安全に使用していただくための表示と意味について

本マニュアルでは、CX-One およびプログラマブルコントローラ（PLC）を安全に使用していただくために、注意事項を次のような表示と図記号で示しています。

ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。



警告

正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至る恐れがあります。また、同様に重大な物的損害をもたらす恐れがあります。



注意

正しい取扱いをしなければ、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

安全上の要点

製品を安全に使用するために実施または回避すべきことを示します。

使用上の注意

製品が動作不能、誤動作、または性能・機能への悪影響を予防するために実施または回避すべきことを示します。

お願い

本文中の「お願い」は安全上の要点、使用上の注意と同等の内容を示します。

図記号の説明



△記号は、注意（警告を含む）を意味しています。
具体的な内容は、△の中と文章で示します。
左図の場合は、「感電注意」を表します。



⊘記号は、禁止を意味しています。
具体的な内容は、⊘の中と文章で示します。
左図の場合は、「分解禁止」を表します。



●記号は、強制を意味しています。
具体的な内容は、●の中と文章で示します。
左図の場合は、「一般的な強制事項」を表します。



△記号は、注意（警告を含む）を意味しています。
具体的な内容は、△の中と文章で示します。
左図の場合は、「一般的な注意」を表します。

警告

本ソフトウェアを使用するパソコンにウィルス対策ソフトを導入し、パソコンがウィルスに感染するリスクを低減させてください。また、ウィルス対策ソフトは常に最新の状態にしてください。



OS の脆弱性に起因するセキュリティリスクを回避するために、本ソフトウェアを使用するパソコンの OS を常に最新の状態にしてください。



機能の追加や操作性の改善、セキュリティの強化のため、本ソフトウェアは、常に最新のバージョンにアップデートしてお使いください。



本ソフトウェアで設定するユーザ名やパスワードについて、他人から不正に利用されないよう適切な設定・管理をしてください。



制御システムや装置のネットワークはファイアウォール（未使用通信ポートの遮断、通信ホストの制限）を導入し、IT ネットワークからの分離を行い、本ソフトウェアの制御システムへの接続はファイアウォール内で行うようにしてください。



本ソフトウェアから制御システムや装置へのリモートアクセスが必要な場合は仮想プライベートネットワーク（VPN）を使用してください。



注意

以下の操作を行うときは、他ノード（PLC）のネットワークアドレス/ノードアドレス、および装着ユニット（PLC 高機能ユニット）のユニット番号/号機 No.、コンポのノードアドレスを、必ず確認し、かつ他ノード/ユニット/コンポの状態を確認した上で、行ってください。



- ・他ノードへプログラムを転送するとき
- ・他ノードの動作モードを変更するとき
- ・他ノード（PLC）上の装着ユニットまたは他ノード（PLC）に通信で接続されているコンポ（DeviceNet マスタ/スレーブ、CompoWay/F 子局）に対して、パラメータを転送するとき
- ・他ノード（PLC）上の装着ユニット、または他ノード（PLC）に通信で接続されているコンポ（DeviceNet マスタ/スレーブ、CompoWay/F 子局）に対して、リセットを行うとき

異なるノード/ユニット/コンポに、プログラムやパラメータを転送するとまたは異なるノードの動作モードを変更すると、または他ノード/ユニット/コンポの状態によっては、予期しない動作をし、けがをする恐れがあります。

とくに、**CX-Integrator** にて、「接続先 PLC」を「初期接続 PLC」とは別のノード（PLC）に切り替えた場合、各種操作を実行するときに、必ず現状の接続先 PLC のネットワークアドレス/ノードアドレスを確認してから、実行してください。異なるノードに対して操作を実行すると、予期しない動作をし、けがをする恐れがあります。



- ・動作モード変更
- ・任意設定のデータリンクテーブルの転送/照合
- ・ルーチングテーブルの転送/照合
- ・I/O テーブル操作（高機能ユニットのパラメータ転送を含む）

注：CX-Integrator は、「初期接続 PLC」ではなく、「接続先 PLC」に対して、上記操作を実行します。

作成/編集したパラメータを、実機ユニット（PLC 高機能ユニット）または実機コンポ（DeviceNet マスタ/スレーブ、CompoWay/F 子局）に転送するときは、必ず、転送先のユニットまたはコンポの各識別番号（ユニット番号/号機 No.、またはノードアドレス）を確認してから、転送操作を行ってください。
異なる識別番号のユニットまたはコンポに、パラメータを転送すると、予期しない動作をし、けがをする恐れがあります。



安全上の要点

CX-One を使用する際には、次のことに気をつけてください。

- ・プロジェクトファイルを「保存」、または「開く」ときは、必ず対象のフォルダの位置、およびファイル名を確認してから実行してください。CX-One では「保存」、または「開く」の対象フォルダを自動的に切り替えます。
- ・設備に影響がないことを確認してから、CPU ユニットの動作モードを変更してください。
- ・作成したプログラム、およびパラメータは、十分な動作確認を行った後に本運転に移行してください。
- ・PLC の CPU 高機能ユニット、高機能 I/O ユニット、および DeviceNet のマスタ/スレーブユニットをリセットするときは、リセットがかかっても設備に支障がないことを確認してから実行してください。

マニュアル改訂履歴

マニュアル改訂記号は、表表紙・裏表紙の左下に記載されている Man.No.の後尾に付記されます。

Man. No. SBCA-346U

↑
改訂記号

改訂記号	改訂年月	改訂理由・改訂ページ
－	2006 年 7 月	初版 (旧マニュアル No. : CX-One Ver.1.1 : SBCA-335B)
B	2007 年 7 月	CX-One Ver.2.0 から Ver.2.1 へのバージョンアップに伴う改訂
C	2008 年 6 月	CX-One Ver.2.1 から Ver.3.0 へのバージョンアップに伴う改訂
D	2009 年 2 月	CX-One Ver.3.0 から Ver.3.1 へのバージョンアップに伴う改訂
E	2009 年 6 月	CX-One Ver.3.1 から Ver.3.2 へのバージョンアップに伴う改訂
F	2009 年 12 月	CX-One Ver.3.2 から Ver.4.0 へのバージョンアップに伴う改訂
G	2010 年 2 月	説明追加、誤記修正による改訂
H	2010 年 5 月	インストール機能の変更に伴う改訂
J	2010 年 10 月	CX-One Ver.4.0 から Ver.4.1 へのバージョンアップに伴う改訂
K	2012 年 4 月	インストール機能の変更に伴う改訂
L	2013 年 10 月	Windows8 対応に伴う改訂 誤記訂正
M	2016 年 4 月	Windows10 対応、CX-One の形式変更に伴う改訂
N	2017 年 7 月	インストール機能の変更に伴う改訂
P	2018 年 12 月	CX-One Ver.4.4 から Ver.4.5 へのバージョンアップに伴う改訂
R	2019 年 9 月	CX-One Ver.4.5 から Ver.4.51 へのバージョンアップに伴う改訂
S	2020 年 9 月	CX-One Ver.4.51 から Ver.4.60 へのバージョンアップに伴う改訂
T	2022 年 10 月	セキュリティに関する安全上の注意追記に伴う改訂
U	2023 年 9 月	CX-One Ver.4.60 から Ver.4.61 へのバージョンアップに伴う改訂

目次

はじめに	2
安全上のご注意	4
安全上の要点	7
マニュアル改訂履歴	8
目次	9
第 1 章 概要	1-1
1-1 CX-One 概要	1-2
1-1-1 FA 統合ツールパッケージ「CX-One」とは	1-2
1-1-2 CX-One の特長	1-2
1-2 CX-One 構成品のご確認	1-3
1-2-1 ユーザ登録のご案内	1-5
1-3 CX-One 構成周辺ツール	1-6
1-3-1 CX-One 構成周辺ツール/参照マニュアル一覧	1-6
1-3-2 CX-One の周辺ツールの起動関係の詳細	1-8
1-4 システム要件	1-9
1-4-1 システム要件	1-9
1-4-2 CX-One 構成周辺ツールの必要容量	1-11
第 2 章 インストールと アンインストール	2-1
2-1 CX-One のインストール	2-2
2-1-1 インストール前に確認していただきたいこと	2-2
2-1-2 CX-One をインストールする	2-3
2-2 CX-One のメンテナンス	2-14
2-2-1 CX-One 構成周辺ツールを個別に選択して再インストールする場合	2-14
2-2-2 CX-One の構成周辺ツールをすべてアンインストールする場合	2-17
2-2-3 CX-Server をアンインストールする場合	2-19
第 3 章 オートアップデートによるアプリケーションのアップグレード	3-1
3-1 概要	3-2
3-1-1 オートアップデートとは	3-2
3-2 オートアップデートの実施	3-3
3-2-1 オートアップデート実施する前に	3-3
3-2-2 オートアップデートの開始	3-4
3-2-3 アップデート結果の確認	3-9
3-2-4 CX-One (アップデート版) のアンインストール	3-10

3-3	オートアップデートの定期通知機能	3-11
3-3-1	オートアップデートの定期通知機能を有効にする	3-11
3-3-2	アップデートの通知	3-12

付録		付-1
----	-------	-----

付-1	CX-One Lite について	付-2
付-1-1	CX-One Lite とは	付-2
付-1-2	CX-One Lite 構成品のご確認	付-2
付-1-3	CX-One Lite で使用できる PLC 機種とパソコン	付-2
付-1-4	CX-One Lite 構成周辺ツールの必要容量	付-3
付-1-5	CX-One Lite のインストール	付-3

第 1 章

概要

1-1 CX-One 概要

1-1-1 FA 統合ツールパッケージ「CX-One」とは

CX-One とは、オムロン製 PLC・コンポーネントの周辺ツールを 1 つに統合したツールパッケージです。

従来、PLC を中心とした FA システムを構築するとき、各ユニットに対応した周辺ツール（ソフトウェア）を個別に購入し、インストールし、個別に起動し、PLC に接続する必要がありました。

1 台のパソコンに、CX-One をインストールしておけば、オムロン PLC の高機能ユニット設定からネットワークの立ち上げ/モニタまで、統合的な操作が可能となり、PLC システムの立ち上げ効率が向上します。

1-1-2 CX-One の特長

- オムロン製 PLC/コンポーネント用ツールを一括管理
 - ・ 1 台のパソコンに一括インストールしておけば、オムロン製商品の周辺ツールはその 1 台で常に対応できます。
 - ・ 1 つのライセンスキーですべての周辺ツールをインストール可能です。
 - ・ 各周辺ツールの作成ファイルの保存先を 1 つにして統一管理可能です。
- 高機能ユニット専用の周辺ツールを I/O テーブル上から起動（専用ツール起動機能）（※1）
 - ・ I/O テーブル（PLC に装着されているユニット構成テーブル）から登録されているユニットを指定すると自動的に専用ツールが起動されます。また、専用ツール起動時に、PLC 機種情報などの設定情報を専用ツールに引き継ぎますので、ツール間の切り替えが容易に行えます。
- オムロン製コンポーネントの ID 情報ファイル（CPS）のしくみを導入
 - ・ 高機能ユニット設定を、アドレスを意識せず、マニュアルレスで実現できます。（パラメータ項目名、選択項目、設定可能範囲などが自動表示されます）。
 - ・ オンラインで、パソコン上の高機能ユニット設定と実機 PLC（CPU ユニット）内データの都度照合を実行し、不一致の項目/読出しデータをグラフィカルに表示します。
 - ・ I/O テーブル上で、ユニット形式でのユニット構成が表示されます。
 - ・ ネットワーク上の機器タイプをユニット形式まで表示するので、画面上で正確なネットワーク構成が確認できます。

参 考

CPS とは

CPS（Component and network Profile Sheet の略）とは、CX-One 内での CS/CJ/CP/NSJ シリーズユニット/各種コンポーネントの定義情報です。CPS ファイル（XML 形式のファイル）の形で、提供されます。

CX-One では、CS/CJ/CP/NSJ シリーズユニットを、この CPS ファイル内の情報によって認識します。高機能ユニット設定も、この CPS ファイルを基に作成しています。

1-2 CX-One 構成品のご確認

1

概要

■ CX-One の形式

品名	形式	インストール可能な周辺ツール		同梱データ一覧
CX-One Ver.4.□	形 CXONE-AL□□D-V4	・ CX-Programmer	Ver.9.□	・ Smart FB ・ Smart Active Parts (SAP) ・ CPS ・ マニュアル (PDF)
		・ CX-Integrator	Ver.2.□	
		・ CX-Simulator	Ver.2.□	
		・ CX-Designer	Ver.3.□	
		・ NV-Designer	Ver.2.□	
		・ CX-Motion	Ver.2.□	
		・ CX-Motion-NCF	Ver.1.□	
		・ CX-Motion-MCH	Ver.2.□	
		・ CX-Position	Ver.2.□	
		・ CX-Drive	Ver.3.□	
		・ CX-Protocol	Ver.2.□	
		・ CX-Process Tool	Ver.5.□	
		・ NS フェースプレート 自動生成ツール	Ver.3.□	
		・ CX-Thermo	Ver.4.□	
		・ CX-Flnet	Ver.1.□	
		・ Network Configurator	Ver.3.□	
		・ CX-ConfiguratorFDT	Ver.3.□	
		・ NX-IO Configurator	Ver.1.□	
		・ CX-Server	Ver.5.□	
		・ SwitchBox Utility	Ver.1.□	

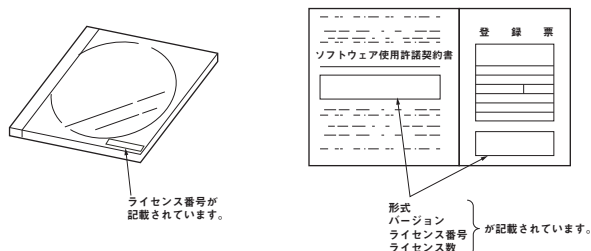
■ CX-One の構成品

CX-One の構成品は次のとおりです。付属品をご確認ください。

・ CX-One 形 CXONE-AL□□D-V4

セットアップディスク (CXONE-AL□□D : DVD)	1 枚
CX-One 導入ガイド (No.SBCA-045)	DVD 内に PDF データ (おもなマニュアルのみ を挙げています)
CX-Programmer 導入ガイド (No.SBCA-037)	
CX-Designer 導入ガイド (No.SBSA-523)	
ファンクションブロック/ストラクチャードテキスト導入ガイド (No.SBCA-044)	
SFC 導入ガイド (No.SBCA-052)	
統合シミュレーション導入ガイド (No.SBCA-023)	
CX-One セットアップマニュアル (No.SBCA-346) (本マニュアル)	
CX-Programmer オペレーションマニュアル (No.SBCA-337)	
CX-Programmer オペレーションマニュアル ファンクションブロック編/ストラクチャードテキスト編 (No.SBCA-338)	
CX-Programmer オペレーションマニュアル SFC 編 (No.SBCA-348)	
CX-Integrator オペレーションマニュアル (No.SBCA-347)	
CX-Simulator オペレーションマニュアル (No.SBCA-310)	
CX-Designer ユーザーズマニュアル (No.SBSA-532)	
NV シリーズ 画面作成マニュアル (No.SBSA-537)	
CX-Motion オペレーションマニュアル (No.SBCE-317)	
CX-Motion-NCF オペレーションマニュアル (No.SBCE-328)	
CX-Motion-MCH オペレーションマニュアル (No.SBCE-336)	
CX-Position オペレーションマニュアル (No.SBCE-324)	
CX-Drive オペレーションマニュアル (No.SBCE-375)	
CX-Protocol オペレーションマニュアル (No.SBCA-307)	
CX-Process Tool (ツールソフト) オペレーションマニュアル (No.SBCC-823)	
NS フェースプレート自動生成ツールオペレーションマニュアル (No.SBCC-836)	
NX-IO Configurator オペレーションマニュアル (No.SBCD-373)	
Smart FB ライブラリ リファレンスマニュアル (No.SBCA-333)	
SAP ライブラリ リファレンスマニュアル (No.SBSA-521) (※)	
CX-Thermo オペレーションマニュアル	オンラインヘルプのみ
ソフトウェア使用許諾契約書/ユーザ登録はがき	1 枚
製品登録のご案内	1 枚

※：ユニットごとの PDF を用意しています。



お願い

「ソフトウェア使用許諾契約書/ユーザ登録はがき」に、インストール時に必要なライセンス番号が記載されています。紛失しないように大切に保管してください。

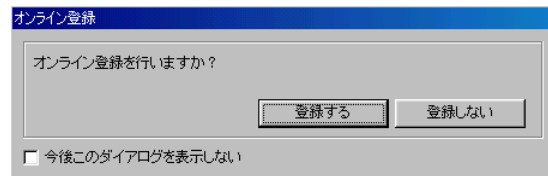
1-2-1 ユーザ登録のご案内

CX-One をご使用になるときは、以下の方法で、必ずユーザ登録をしてください。

■ インターネット経由でユーザ登録（インターネットに接続が必要）

● CX-One の[オンライン登録]ダイアログボックスからユーザ登録する場合

1. CX-One インストール完了後、パソコンを再起動すると、以下の[オンライン登録]ダイアログボックスが表示されます。



2. [登録する]ボタンをクリックします。ブラウザが起動して、「オムロン CX-One Web サイト」へ接続します。(*1)

*1: [登録しない]ボタンをクリックして、オンライン登録をキャンセルした場合、CX-One 構成周辺ツールを起動するたび、[オンライン登録]ダイアログボックスが表示されます。

3. サイトの画面にしたがってユーザ登録に必要な情報を入力します。
なお、プロダクトキーおよびライセンス番号につきましては、同梱の「ソフトウェア使用許諾契約書」に記載されている情報をご使用ください。
4. ユーザ登録の受付完了後、入力いただいた E メールアドレス宛に登録結果を送付させていただきます。

お願い

オンライン登録が完了しているにもかかわらず、**CX-One 構成周辺ツール**の起動時に [オンライン登録]ダイアログボックスが表示される場合があります。

その場合、[今後このダイアログを表示しない]にチェックを入れて、[登録しない]ボタンをクリックしてください。また、以下の場合も同様です。

- ・ **Windows** へのログイン時、オンライン登録を実施したユーザ名と異なるユーザ名でログインした場合
- ・ 「ユーザ登録はがき」によるユーザ登録をした場合

● CX-Programmer などの CX-One 構成周辺ツールからオンライン登録する場合

1. CX-Programmer などの CX-One 構成周辺ツールを起動して、[ヘルプ]メニューから [オンライン登録]を選択すると、オムロン CX-One Web サイトが表示されます。
サイトの画面にしたがってユーザ登録に必要な情報を入力します。
プロダクトキーおよびライセンス番号につきましては、同梱の「ソフトウェア使用許諾契約書」に記載されている情報をご使用ください。

お願い

製品に同梱されている「ユーザ登録はがき」をご返送いただいている場合は、二重にオンライン登録はしないでください。

■ ユーザ登録はがきによるユーザ登録

CX-One に同梱されている「ユーザ登録はがき」に必要事項を記入し、郵送してください。

お願い

登録はがきによるユーザ登録は、お申し込みいただいてから、登録完了の案内をお届けし、**Smart ライブラリ**のダウンロードなどが可能になるまで**2週間**ほどかかります。ご了承ください。

1-3 CX-One 構成周辺ツール

1-3-1 CX-One 構成周辺ツール/参照マニュアル一覧

CX-One でインストールされる周辺ツール（CX-One 構成周辺ツール）、および各周辺ツールの参照マニュアルは以下のとおりです。

CX-One 構成周辺ツール	概略説明	参照マニュアル (DVD に PDF を同梱)
CX-Programmer	SYSMAC CS/CJ/CP/NSJ シリーズ、C シリーズ、CVM1/CV シリーズのプログラム作成やデバッグを行うためのソフトウェアです。 NC ユニット（高速タイプ）の各種データ作成やモニタリングも可能です。	CX-Programmer オペレーションマニュアル（No.SBCA-337） CX-Programmer オペレーションマニュアル ファンクションブロック編/ストラクチャードテキスト編（No.SBCA-338） CX-Programmer オペレーションマニュアル SFC 編（No.SBCA-348）
CX-Integrator	ControllerLink、DeviceNet、CompoNet、CompoWay/F、Ethernet など、FA ネットワークを立ち上げ、設定を行うためのソフトウェアです。ルーチングテーブルコンポーネント、データリンクコンポーネントを起動可能です。 DeviceNet コンフィグレート機能を含みます。	CX-Integrator オペレーションマニュアル（No.SBCA-347）
Switch Box Utility	PLC のデバッグ作業を支援するユーティリティソフトウェアです。ユーザが指定する PLC 内のアドレスの入出力状態や現在値を、簡単にモニタ/変更することが可能です。	オンラインヘルプ
CX-Protocol	SYSMAC CS/CJ/CP/NSJ シリーズ、SYSMAC a シリーズのシリアルコミュニケーションボード/ユニット/オプションボードと接続された、汎用外部機器とのデータ送受信手順（プロトコル）を作成するためのソフトウェアです。	CX-Protocol オペレーションマニュアル（No.SBCA-307）
CX-Simulator	SYSMAC CS/CJ/CP/NSJ シリーズ CPU の動作をパソコン上でシミュレートし、CPU ユニットなしでもプログラムのデバッグを行えるようにするソフトウェアです。	CX-Simulator オペレーションマニュアル（No.SBCA-310）
CX-Position	SYSMAC CS/CJ シリーズ NC ユニット（高速タイプを除く）の各種データの作成やモニタリングを行うためのソフトウェアです。	CX-Position オペレーションマニュアル（No.SBCE-324）
CX-Motion-NCF	SYSMAC CS/CJ シリーズ NCF ユニット（MECHATROLINK-II 通信タイプ）の各種データの作成やモニタリングを行うためのソフトウェアです。	CX-Motion-NCF オペレーションマニュアル（No.SBCE-328）
CX-Motion-MCH	SYSMAC CS/CJ シリーズ MCH ユニット（MECHATROLINK-II 通信タイプ）の各種データの作成、モーションプログラムの作成およびモニタリングを行うためのソフトウェアです。	CX-Motion-MCH オペレーションマニュアル（No.SBCE-336）
CX-Motion	SYSMAC CS シリーズ、a シリーズ、CVM1/CV シリーズ MC ユニットの各種データの作成、MC プログラムの作成およびモニタリングを行うためのソフトウェアです。	CX-Motion オペレーションマニュアル（No.SBCE-317）
CX-Drive	インバータ・サーボの各種データの設定や調整を行うためのソフトウェアです。	CX-Drive オペレーションマニュアル（No.SBCE-375）
CX-Process Tool	SYSMAC CS/CJ シリーズ ループコントローラ（ループコントロールユニット/ボード、プロセス CPU ユニット、ループ CPU ユニット）の計器ブロック作成やデバッグを行うためのソフトウェアです。	CX-Process Tool（ツールソフト）オペレーションマニュアル（No.SBCC-823）
NS フェースプレート 自動生成ツール	CX-Process Tool（ツールソフト）上で作成された計器ブロックのタグ情報から、NS シリーズ PT 用の画面データ（プロジェクトファイル）を自動的に生成するソフトウェアです。PT 上でループコントローラをモニタ/チューニングすることが可能です。	NS フェースプレート自動生成ツールオペレーションマニュアル（No.SBCC-836）
CX-Designer	プログラマブルターミナル NS シリーズの画面データを作成するためのソフトウェアです。	CX-Designer ユーザーズマニュアル（No.SBSA-532）
NV-Designer	プログラマブルターミナル NV シリーズの画面データを作成するためのソフトウェアです。	NV シリーズ 画面作成マニュアル（No.SBSA-537）

1-3 CX-One 構成周辺ツール

1-3-1 CX-One 構成周辺ツール/参照マニュアル一覧

1 概要

CX-One 構成周辺ツール	概略説明	参照マニュアル (DVD に PDF を同梱)
CX-Thermo	デバイス（温度調節器などのコンポーネント）のパラメータの設定と調整をするソフトウェアです。	オンラインヘルプ
CX-FLnet	SYSMAC CS/CJ シリーズ FL-net ユニットのシステム設定、モニタリングを行うためのソフトウェアです。	なし
Network Configurator	CJ2（EtherNet/IP 機能付き）CPU ユニットや EtherNet/IP ユニットでタグデータリンクの設定を行うためのソフトウェアです。	なし
CX-ConfiguratorFDT	フィールドデバイスの設定、診断、保守用の FDT フレームアプリケーションです。IO-Link デバイスの設定を行うためのソフトウェアです。	オンラインヘルプ
NX-IO Configurator	EtherNet/IP カブラユニットおよび、EtherNet/IP カブラユニットに装着された各 NX ユニットの設定やメンテナンスを行うためのソフトウェアです。 Windows7 SP1 以降でのみ使用可能です。	NX-IO Configurator オペレーションマニュアル（No.SBCD-373）
CX-Server	CX-One 周辺ツールが PLC や表示器、温調器などのオムロン製コンポーネントと通信するために必要なミドルウェアから構成されます。	なし
PLC Tools (自動的にインストールされます)	以下の各種コンポーネントから構成されます。 I/O テーブル、PLC メモリ、PLC システム設定、データレース/タイムチャートモニタ、PLC 異常履歴、ファイルメモリ、PLC 時計、ルーチングテーブル、データリンクテーブルなど	対応する周辺ツールの各マニュアルを参照

以下のユーティリティツールは、インストールディスクの[Utility]フォルダに格納されています。必要に応じて、個別にインストールしてください。

ツール名	格納先	概略説明
OMRON Automation Software Remover	¥Utility¥CXOneRemover	CX-One のインストール時に問題となるファイルを取り除き、CX-One を再インストール可能な状態にするソフトウェアです。インストール時に問題が発生した場合、本ツールを使用してください。
フロー変換ユーティリティ	¥Utility¥Flow(Japanese)	SYSMATE フローサポートソフトで作成したフロープログラムを、CX-Programmer で読み込み可能なファイル形式に変換するためのソフトウェアです。
NT サポートツール	¥Utility¥NT-SupportTool	プログラマブルターミナル NT シリーズの画面データを作成するためのソフトウェアです。

1-3 CX-One 構成周辺ツール

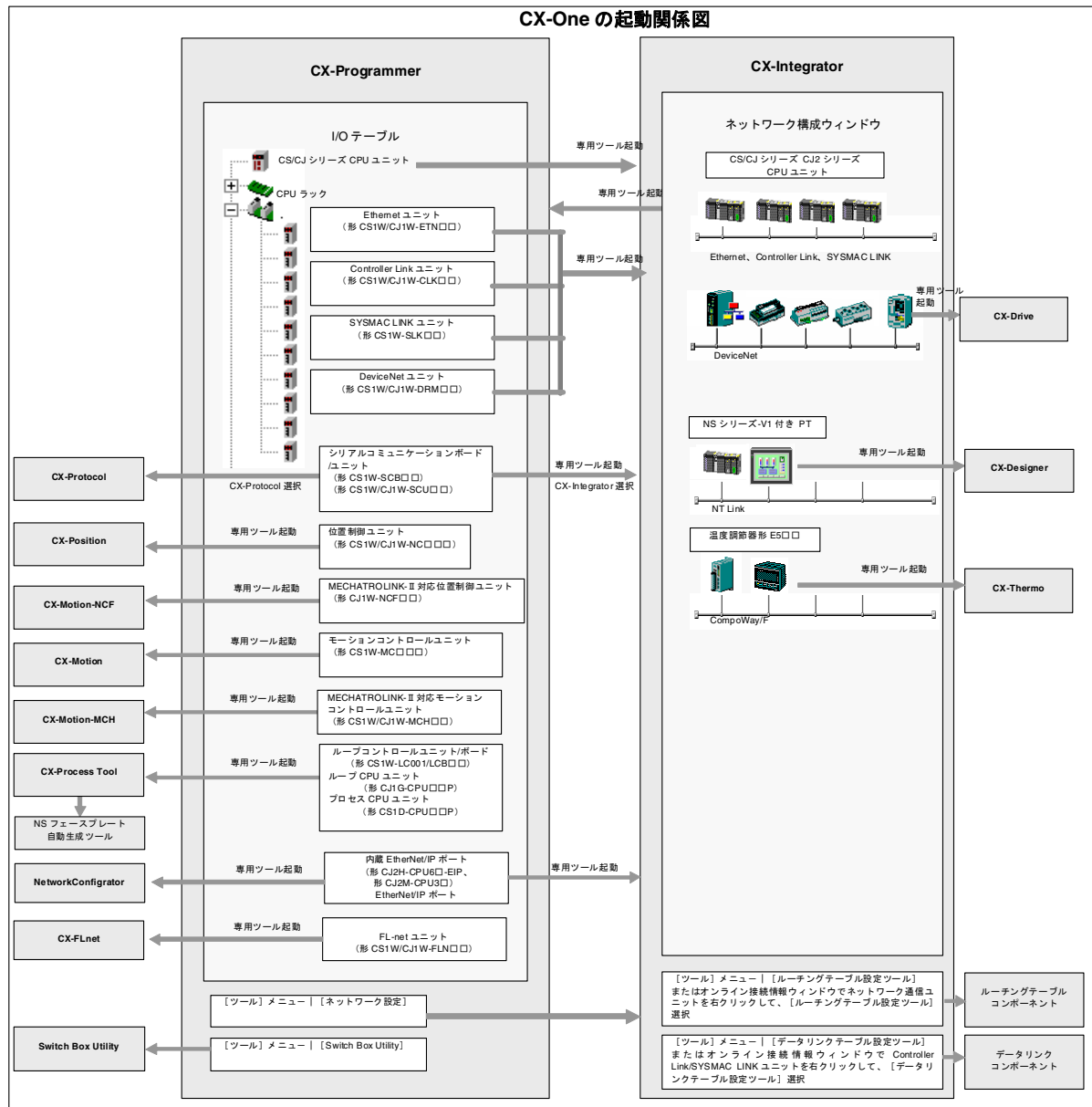
1-3-2 CX-One の周辺ツールの起動関係の詳細

1

概要

1-3-2 CX-One の周辺ツールの起動関係の詳細

CX-One では、CX-Programmer の I/O テーブル、および CX-Integrator のネットワーク構成ウィンドウまたは各[ツール]メニューから、以下のように各種周辺ツールを起動することができます。（専用ツール起動機能）（※1）



● 設定を引き継いで起動をした場合：

- ・ PLC 機種設定を専用ツールごとに設定することは不要です。
- ・ オンライン状態を専用ツールでも引継ぎます。
- ・ 各専用ツールの新規プロジェクト作成まで自動実行します。

● 設定を引き継いで起動／起動のみのいずれの場合も：

- ・ 起動後、「ファイルを開く」、「名前を付けて保存」の操作において、ファイルの保存先フォルダ位置は、CX-Programmer が使用しているものと同じになります。

※1： 専用ツール起動機能は、CX-One から CX-Programmer および各周辺ツールをインストールした場合、有効です。

1-4 システム要件

1-4-1 システム要件

CX-One を使用するには、以下の要件を満たしている必要があります。

項目	システム要件
オペレーティングシステム (OS) (注 1)	Microsoft Windows 7 (注 4)(注 7) Microsoft Windows 8.1 Update (KB2919355) 適用 (注 4)(注 5) Microsoft Windows 10 (注 4)(注 6) Microsoft Windows 11
コンピュータ本体	Microsoft 社が推奨するプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
メモリ (注 2)	Microsoft 社が推奨するメモリ容量
ハードディスク	CX-One をすべてインストールする場合は、約 4.0GB 以上の空き容量が必要。
ディスプレイ	XGA (1024×768)、High Color16 ビット以上
ディスク装置	DVD-ROM ドライブ
通信ポート	RS-232C ポート、USB ポート、Ethernet ポート (注 3)
その他	インターネットで、オンラインユーザ登録する場合、モデムなどの接続に必要なハードウェア、およびインターネットのアクセス権が必要

注 1： CX-One 対応オペレーティングシステムのご注意：

1) 必要システム、ハードディスク容量は、システム環境によって異なる場合がありますので、ご注意ください。

注 2： 次の CX-One 構成周辺ツールはそれぞれ必要なメモリ容量が異なります。詳細は各ツールのマニュアルを参照してください。

CX-Programmer、CX-Designer、CX-Thermo、CX-Simulator、CX-Protocol、CX-Motion、CX-Drive、CX-Process ツール、NS フェースプレート自動生成ツール

注 3： 1) RS-232C ポートは、CX-One 構成周辺ツールを使用して、PLC と接続する際に必要です。パソコンに USB ポートしかない場合は、USB-RS-232C 変換ケーブル (形 CS1W-CIF31) をご使用ください。

ただし、CX-Drive で、パソコンの USB ポートから形 3G3MV に接続するときは、USB シリアル変換ケーブル (形 CS1W-CIF31) は、使用できません。推奨する市販 USB-シリアル変換ケーブルをご使用ください。詳細は、CX-Drive のオペレーションマニュアル (No.SBCE-337) を参照してください。

2) USB ケーブルでパソコンと CJ2/CP シリーズを接続した状態で、パソコンをスタンバイ状態にすることはできません。

注 4： CX-One を使用するときには、以下の制約があります。

一部アプリケーションの動作に、以下のような制約があります。

アプリケーション名	制約内容
CX-Designer/ NV-Designer	・ Windows Vista 以降、新規フォント(メイリオ等)をプロジェクト内で使用している場合に、Windows XP 以前の OS 上の CX-Designer から NS/NSJ に転送すると銘版の文字が大きくなり、部品からはみ出すことがあります。
CX-Programmer/ CX-Integrator/ Network Configurator	CPS/EDS/拡張モジュール/インタフェースモジュールのインストール機能において、OS のバーチャルスタ機能により、正常にインストールできますが継続してソフトウェアをご使用いただく上で、以下の機能制約があります (アプリケーションを「管理者として実行」することで、本制約は回避できます)。 ・ 他のユーザでログインすると、再度インストールが必要になる。 ・ オートアップデート機能による CPS の更新ができなくなる。
CX-ConfiguratorFDT	Ver.3 を使用するには.NET Framework 4.8 が必要です。
CX-Server	以下の機能に使用制約があります。 ・ [PLC 機種変更] - [ネットワーク種別] で Controller Link を設定した場合、ドライバがデフォルトから変更はできません。 ・ CLK ボードおよび SLK ボード経由の接続でオンライン接続はできません。 ・ CX-P、CX-I からネットワーク種別：FinsGateway でのオンライン接続はできません。 ・ CS1 ボードと PCI バス経由で通信はできません。

1-4 システム要件

1-4-1 システム要件

1

概要

注5： CX-One を Microsoft Windows 8.1 で使用するときには、以下の制約があります。

- 1) スタートメニューのショートカット
Windows 8.1 のデスクトップ画面にはスタートメニューが表示されていないため、CX-One のアプリケーションをスタートメニューから起動することができません。Windows 8.1 をご使用の場合は、スタート画面から CX-One の各アプリケーションを起動してください。
- 2) .NET Framework 3.5 SP1 のインストール
CX-One に含まれている一部のアプリケーションは、.NET Framework 3.5 SP1 が必要です。Windows 8.1 はインターネットに接続していない状態で .NET Framework 3.5 SP1 をインストールすることができません。必要に応じて、インターネットに接続し .NET Framework 3.5 SP1 をインストールしてください。

注6： CX-One を Microsoft Windows 10 で使用するときには、以下の制約があります。

- 1) .NET Framework 3.5 SP1 のインストール
CX-One に含まれている一部のアプリケーションは、.NET Framework 3.5 SP1 が必要です。Windows 10 はインターネットに接続していない状態で .NET Framework 3.5 SP1 をインストールすることができません。必要に応じてインターネットに接続し .NET Framework 3.5 SP1 をインストールしてください。
- 2) ネットワーク種別にセキュリティプロトコルを使用したオンライン接続である Secure Comm を使用する場合は、Windows 10 1803 以降である必要があります。Secure Comm ネットワークの詳細については、「CX-Programmer オペレーションマニュアル (No.SBCA-337)」を参照してください。

注7： NX-IO Configurator を使用するときには、以下の制約があります。

- 1) NX-IO Configurator は、.NET Framework 4.6.1 以降が必要です。NX-IO Configurator を利用する場合は、Windows 7 SP1 以降に CX-One をインストールして使用してください。

1-4-2 CX-One 構成周辺ツールの必要容量

CX-One 構成周辺ツール	ハードディスク 使用容量目安	備考
CX-Programmer	約 330MB	チェックボックスを選択して 個別インストール可能です。
CX-Position	約 15MB	
CX-Motion	約 45MB	
CX-Motion-NCF	約 260MB	
CX-Motion-MCH	約 60MB	
CX-Drive	約 200MB	
NV-Designer	約 150MB	
CX-Process Tool	約 100MB	
NS フェースプレート自動生成ツール	約 70MB	
CX-Simulator	約 45MB	
CX-Thermo	約 200MB	
CX-Flnet	約 2MB	
NX-IO Configurator	約 120MB	
Switch Box Utility	約 5MB	
CX-Integrator	約 260MB	必ずインストールされます。
CX-Designer	約 750MB	
CX-Protocol	約 20MB	
Network Configurator	約 40MB	
CX-ConfiguratorFDT	約 60MB	
CX-Server、および PLC Tools	約 750MB	

お願い

CX-One をインストールするには、上記のハードディスク容量以外に、**.NET Framework** をインストールするだけのハードディスク空き容量（**1.2GB** 以上）が必要になります。

CX-One 構成周辺ツールを全てインストールした場合、必要なパソコンのハードディスクの空き容量は、約 **4.0GB** です。インストール時にはこのほかにワーク領域も必要になります。

インストールの際は、パソコンのハードディスクの空き容量にご注意ください。

1-4 システム要件

1-4-2 CX-One 構成周辺ツールの必要容量

1

概要

第 2 章

インストールと アンインストール

2-1 CX-One のインストール

2

2-1-1 インストール前に確認していただきたいこと

■ インストールに要する時間の目安

CX-One は、FA システムの構築に必要な周辺ツールを全て統合したパッケージソフトです。これらパッケージソフトのインストールは、パソコンの性能により、約 15 分～45 分の時間を要します。

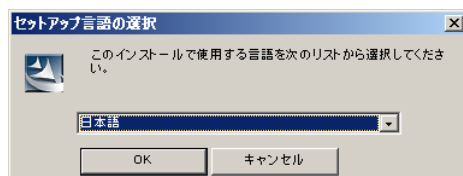
■ インストール前の確認事項

- ・ インストールを実行する前に、すべての Windows プログラムを終了してください。
- ・ ネットワーク上の共有 DVD ドライブやハードディスクなど、ネットワークドライブ経由で CX-One をインストールすることはできません。必ずインストールするパソコンに付属している DVD ドライブ等を使用してインストールしてください。
- ・ 圧縮ドライブは、ファイル破損時に復旧できないドライブです。圧縮ドライブへはインストールしないでください。
- ・ セットアップを途中で中止しないでください。コピー済みのファイルがインストールディレクトリに残る場合があります。
- ・ インストールの最中に、パソコンの電源を OFF にしたり、リセットしたりしないでください。パソコンのデータが壊れる恐れがあります。
- ・ Windows のログオンユーザは、アドミニストレータかアドミニストレータ権限のあるユーザでログインしてインストールし、使用してください。権限のないユーザでは書き込めないフォルダがあり、アクセスエラーとなります。
- ・ インストール後は、Windows の再起動が必要な場合があります。必要に応じてインストールウィザードのメッセージにしたがって再起動してください。
- ・ CX-Programmer for CP1E をインストールしているパソコンに、CX-One をインストールする場合は、あらかじめ CX-Programmer for CP1E をアンインストールしてから行ってください。CX-Programmer for CP1E の機能は、すべて CX-One 同梱の CX-Programmer に含まれています。

2-1-2 CX-One をインストールする

CX-One 構成周辺ツールが全くインストールされていないパソコンにインストールする場合の手順について説明します。

1. CX-One のインストールディスク（DVD）を、DVD ドライブにセットします。
2. セットアッププログラムが自動的に起動され、[セットアップ言語の選択]ダイアログボックスが表示されます。



使用言語はパソコンが使用している OS の言語が自動的に選択されます。

このダイアログボックスが表示されない場合は、エクスプローラなどで DVD ドライブをダブルクリックすると表示されます。

- ・日本語版をインストールする場合は、そのまま[OK]ボタンをクリックします。
- ・英語版をインストールする場合は、選択ボックスで「英語（U.S.）」を選択後、[OK]ボタンをクリックします。

※CX-Programmer、CX-Integrator、CX-Designer は、英語以外の他言語（イタリア語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語（CX-Programmer のみ）、ロシア語、トルコ語）をインストールすることができます。

他のサポートソフトについては、選択した言語をサポートしていない場合は、英語版がインストールされます。

[OK]ボタンをクリックすると、CX-One スプラッシュ画面が表示され、セットアップが開始されます。

2-1 CX-One のインストール

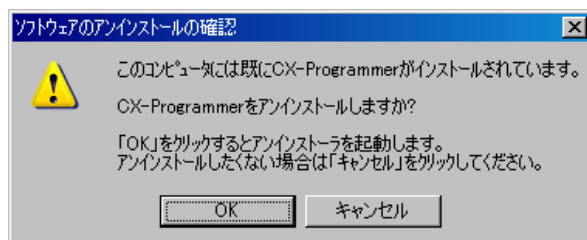
2-1-2 CX-One をインストールする

3. パソコンにすでに CX-Server がインストールされている場合、旧バージョンの CX-Server の削除を促すダイアログボックスが表示されます。

[OK]ボタンをクリックして、旧バージョンの CX-Server をアンインストールしてください。[キャンセル]ボタンをクリックすると、CX-One のインストールを終了します。

また、旧バージョンの周辺ツールがパソコンにインストールされている場合、周辺ツールの種類によって、以下のダイアログボックスが表示されます。

- ・旧バージョンの CX-Programmer がインストールされている場合：



[OK]ボタンをクリックして、旧バージョンの CX-Programmer をアンインストールします。[キャンセル]ボタンをクリックした場合、旧バージョンの CX-Programmer をパソコンに残したまま、CX-One のインストールが続行されます。

このとき、旧バージョンの CX-Programmer と CX-One の CX-Programmer がパソコン内に混在することになるので、[OK]ボタンをクリックすることをお勧めします。

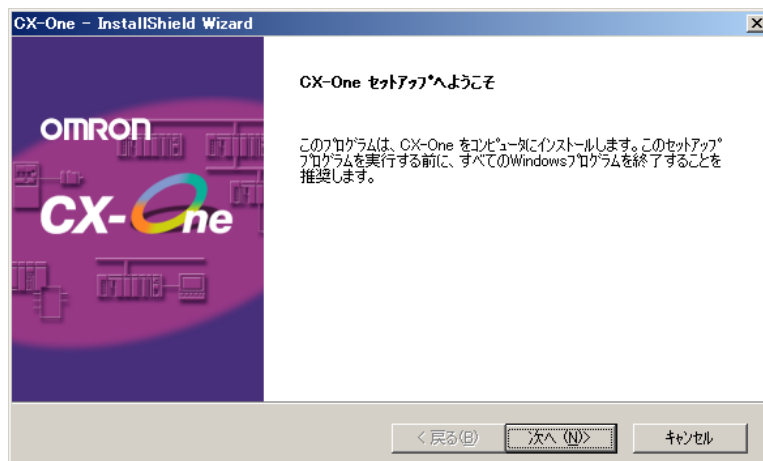
- ・ CX-Programmer 以外の旧バージョンの周辺ツールがインストールされている場合：



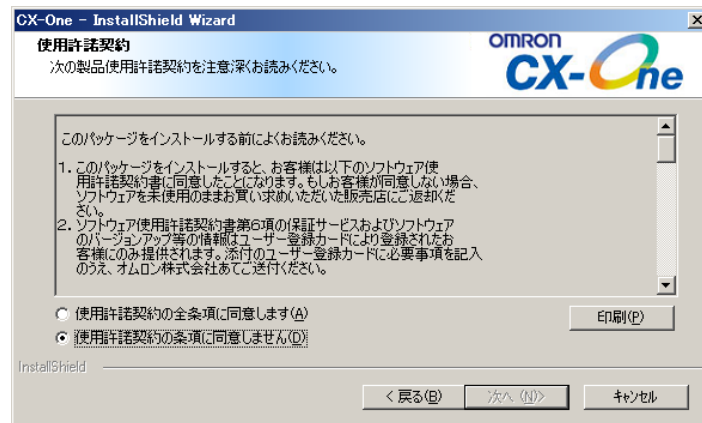
[OK]ボタンをクリックして、旧バージョンの周辺ツールをアンインストールしてください。[キャンセル]ボタンをクリックすると、CX-One のインストールを終了します。

4. CX-One セットアップウィザードが起動されます。

[次へ]ボタンをクリックします。

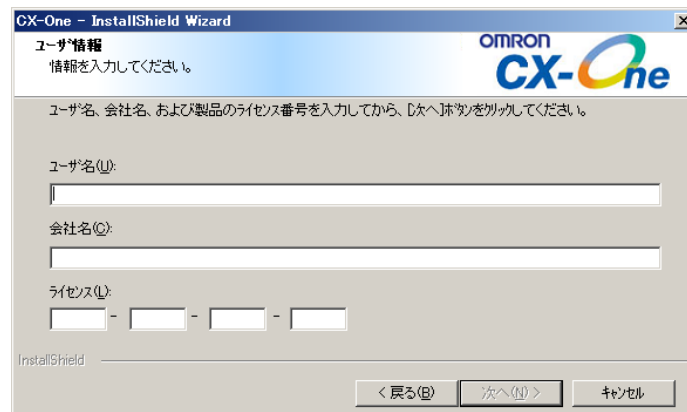


5. [使用許諾契約]ダイアログボックスが表示されます。



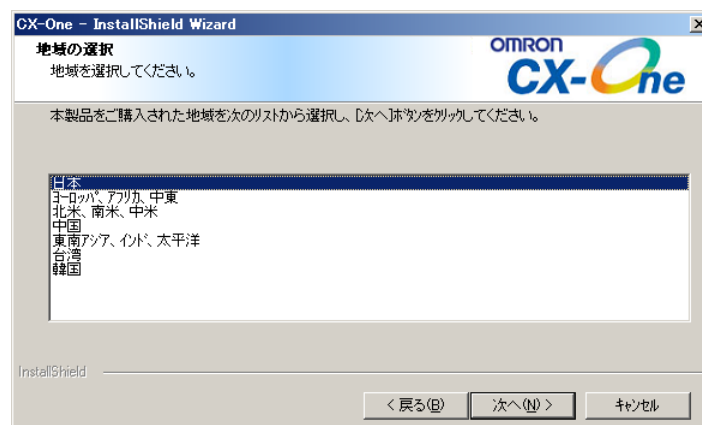
「製品使用許諾契約」をよくお読みになり、すべての条項にご同意いただける場合は、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックしてください。

6. [ユーザ情報]ダイアログボックスが表示されます。



ユーザ名、会社名は、パソコンに登録されている名前がデフォルトで入力されます。ライセンス番号を入力して、[次へ]ボタンをクリックします。ライセンス番号は、付属の「ソフトウェア使用許諾契約書／ユーザ登録はがき」に記載されています。

7. 地域を選択ダイアログボックスが表示されます。

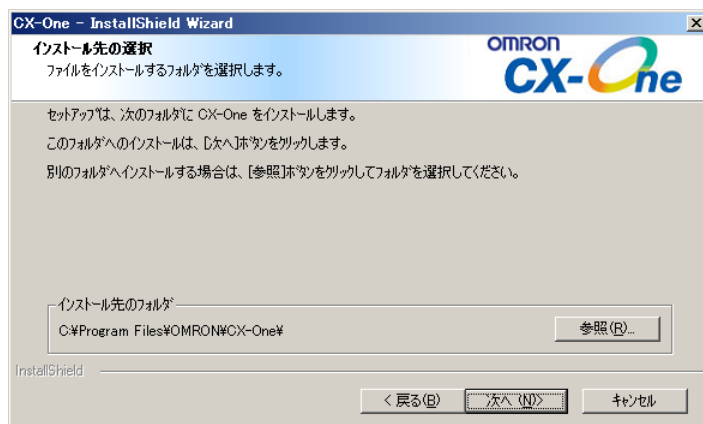


本商品を購入した地域を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

2-1 CX-One のインストール

2-1-2 CX-One をインストールする

8. [インストール先の選択]ダイアログボックスが表示されます。



インストール先を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。
デフォルトでは、「C:\Program Files\OMRON\CX-One」のディレクトリにインストールされます。

9. [セットアップタイプ]ダイアログボックスが表示されます。

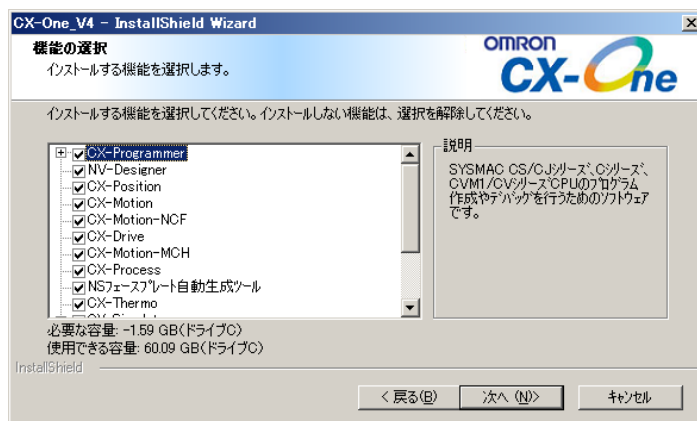


「すべて」または「カスタム」にチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックします。

参考

- ・CX-One のインストールは、[すべて]、または「カスタム」のいずれかを選択した場合でも、ほぼ同様の時間（約 10～40 分）がかかります。したがって、ハードディスクに空き容量がある場合は、基本的に[すべて]を選択して、一括でインストールすることをお勧めします。

「カスタム」を選択した場合は、[機能の選択]ダイアログボックスが表示されます。



注1：セットアップタイプで、「すべて」を選択した場合は、上記ダイアログボックスは表示されません。手順10へ進んでください。

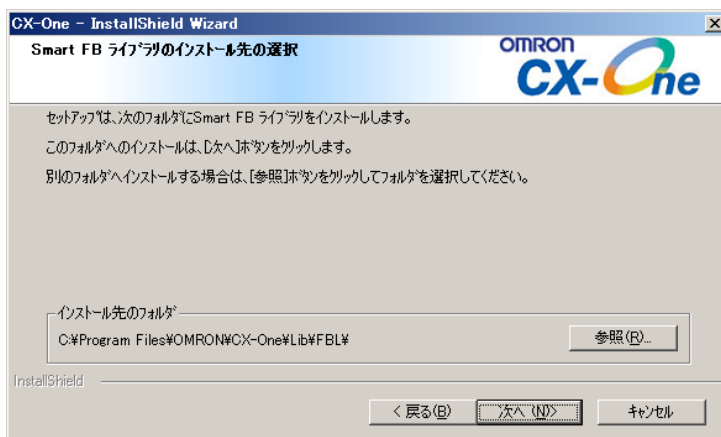
インストールする機能を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
チェックボックス一覧：

☐ CX-Programmer
☐ NV-Designer
☐ CX-Position
☐ CX-Motion
☐ CX-Motion-NCF
☐ CX-Drive
☐ CX-Motion-MCH
☐ CX-Process
☐ NS フェースプレート自動生成ツール
☐ CX-Thermo
☐ CX-Simulator
☐ Switch Box
☐ CX-FLnet
☐ NX-IO Configurator
☐ CX-Server (グレーアウトで必ず選択)
☐ CX Common Tools (グレーアウトで必ず選択)

注 2：CX Common Tools には以下のアプリケーションが含まれます。

- ☐ CX-Integrator
- ☐ CX-Designer
- ☐ CX-Protocol
- ☐ Network Configurator
- ☐ CX-ConfiguratorFDT
- ☐ PLC Tools

10. 「すべて」を選択、あるいは「カスタム」のチェックボックスから「Smart FB ライブラリ」を選択した場合、[Smart FB ライブラリのインストール先の選択]ダイアログボックスが表示されます。



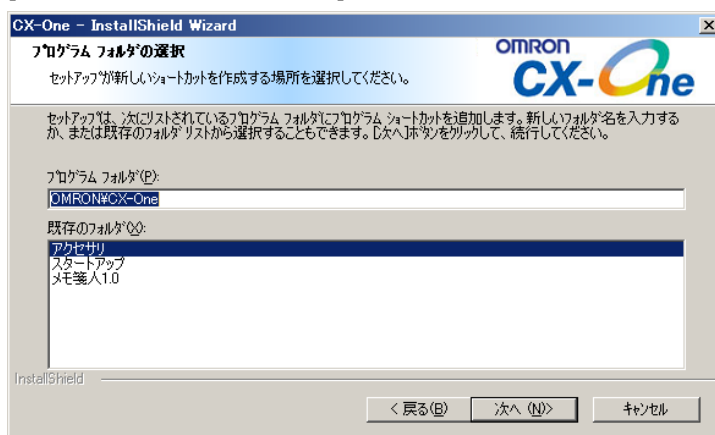
インストール先を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

デフォルトでは、「C:\Program Files\OMRON\CX-One\Lib\FBL」のディレクトリにインストールされます。

2-1 CX-One のインストール

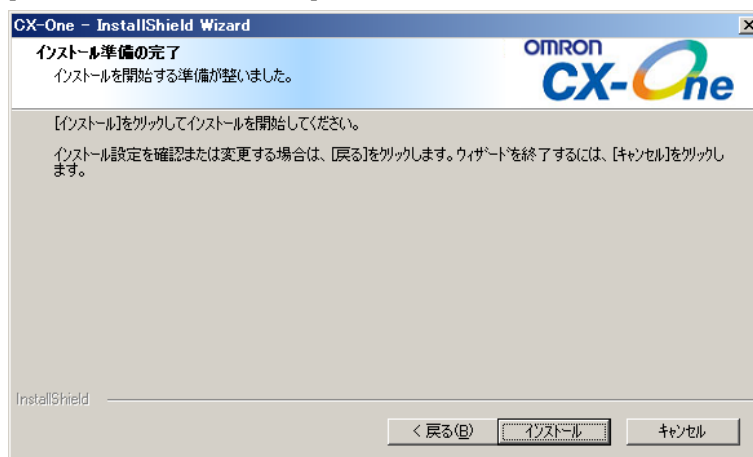
2-1-2 CX-One をインストールする

11. [プログラムフォルダの選択] ダイアログボックスが表示されます。



スタートメニューのプログラムフォルダに新しいショートカットを追加する場所を指定します。[次へ]ボタンをクリックします。

12. [インストール準備の完了] ダイアログボックスが表示されます。



[インストール]ボタンをクリックします。

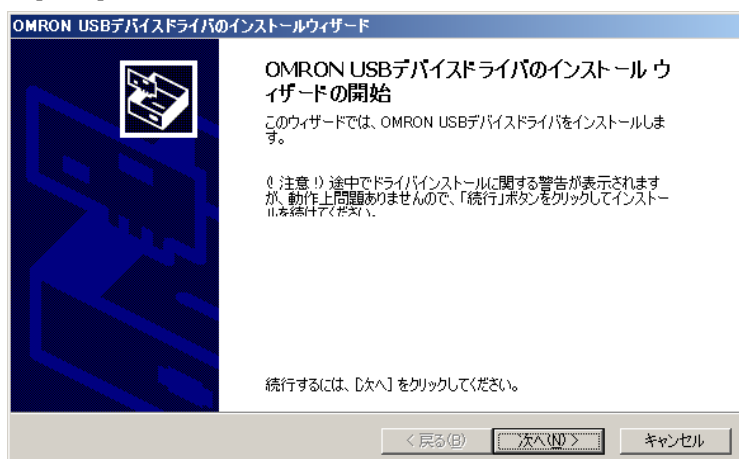
インストールプログラムにより、インストールが開始されます。

インストール内容の確認または変更する場合は、[戻る]ボタンをクリックします。

インストールを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。

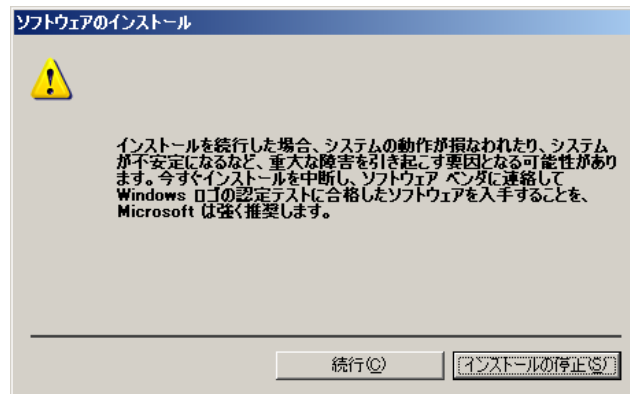
13. [OMRON SYSMAC PLC/NS 用 USB デバイスドライバのインストールウィザード]が表示されます。

[次へ]ボタンをクリックします。

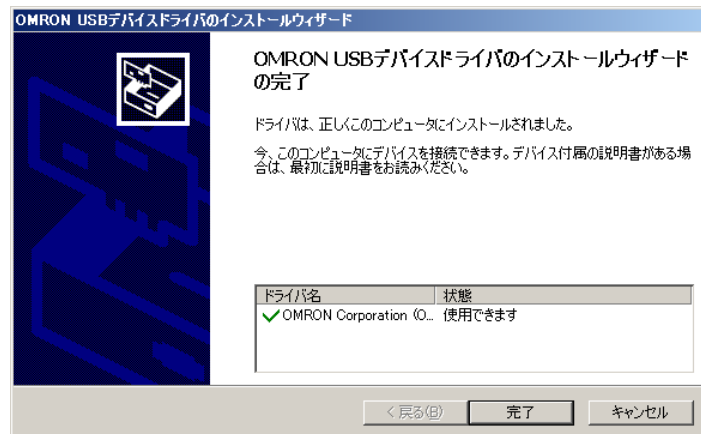


14. 以下のメッセージダイアログボックスが表示されます。

[続行]をクリックします。

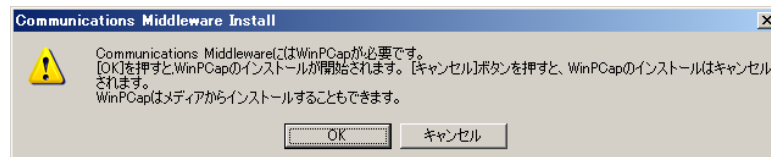


15. USB デバイスドライバのインストールが完了すると、以下のダイアログボックスが表示されます。

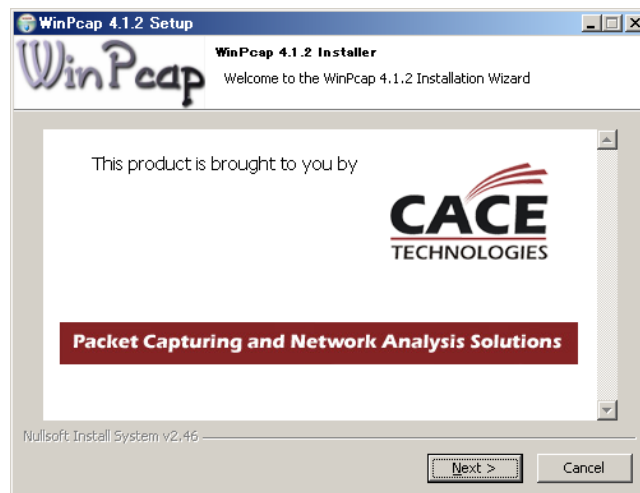


16. WinPcap のインストールが開始されます。

[OK]をクリックします。



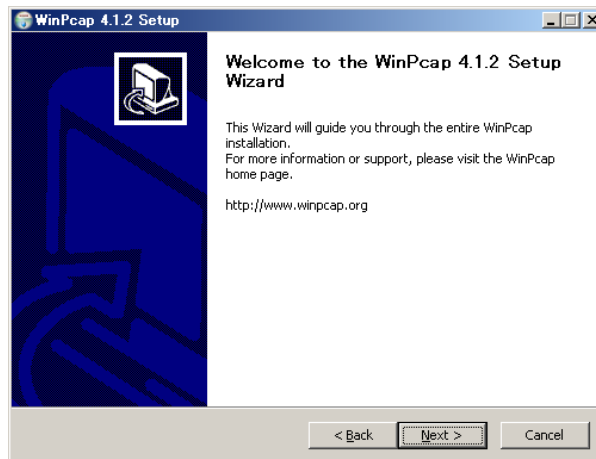
17. [Next]をクリックします。



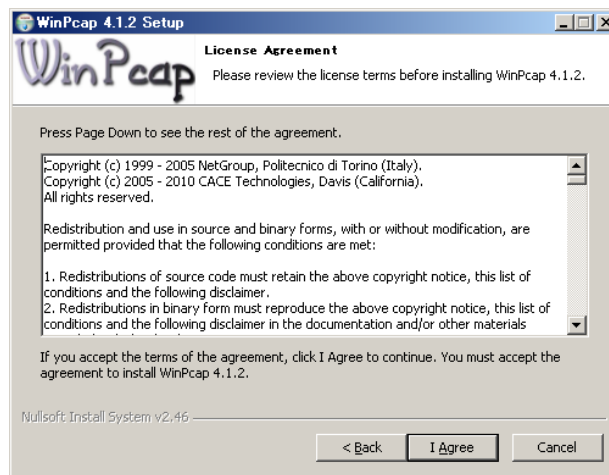
2-1 CX-One のインストール

2-1-2 CX-One をインストールする

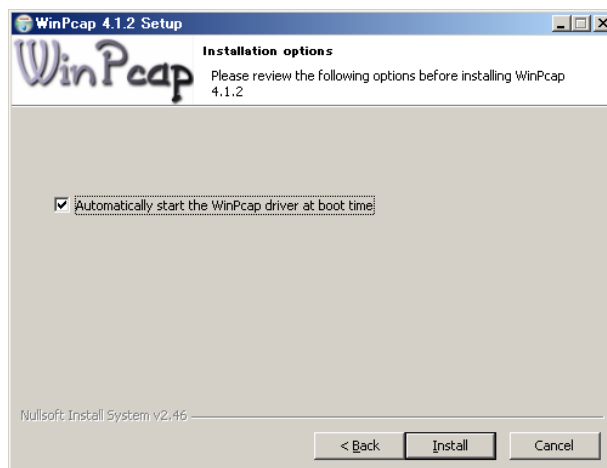
18. [Next]をクリックします。



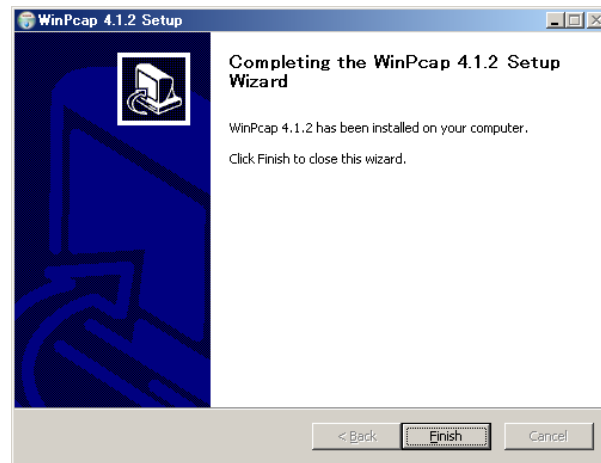
19. [I Agree]をクリックします。



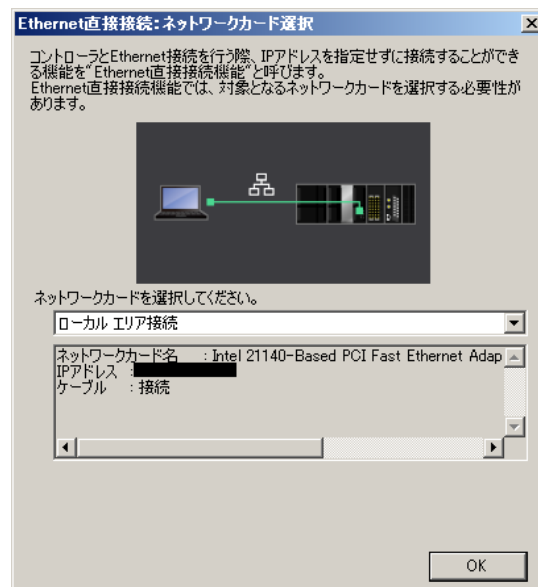
20. [Automatically start the WinPcap driver at boot time]にチェックを入れ、[Install]をクリックします。



21.[Finish]をクリックします。

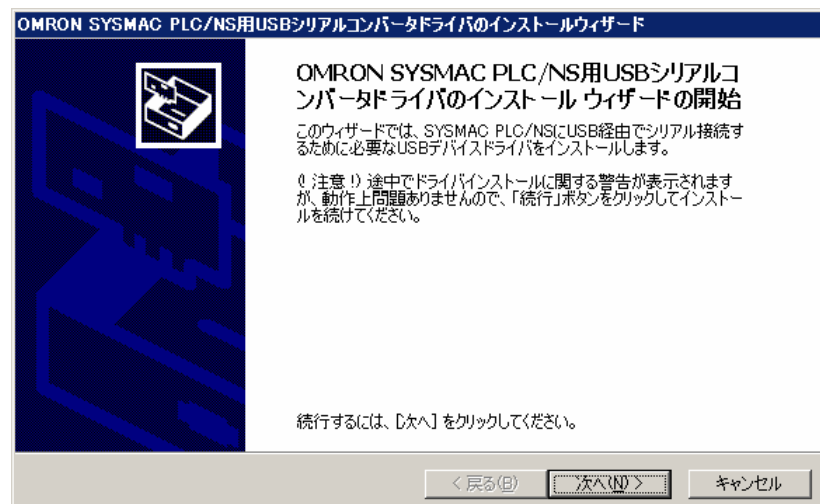


22.Ethernet ケーブルでコントローラに直接接続する場合に使用するネットワークカードをプルダウンリストから選択し、[OK]をクリックします。



23.[OMRON SYSMAC PLC/NS 用 USB デバイスドライバのインストールウィザード]が表示されます。

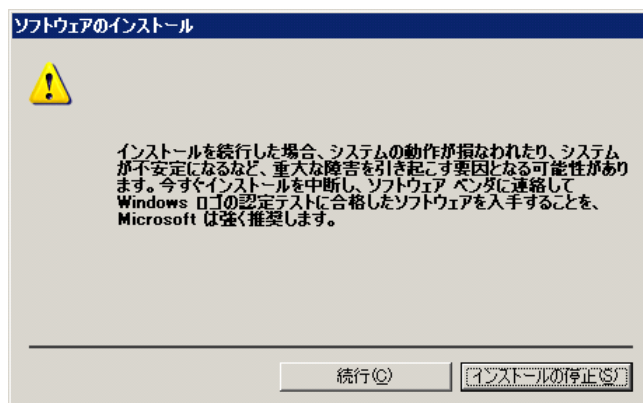
[次へ]ボタンをクリックします。



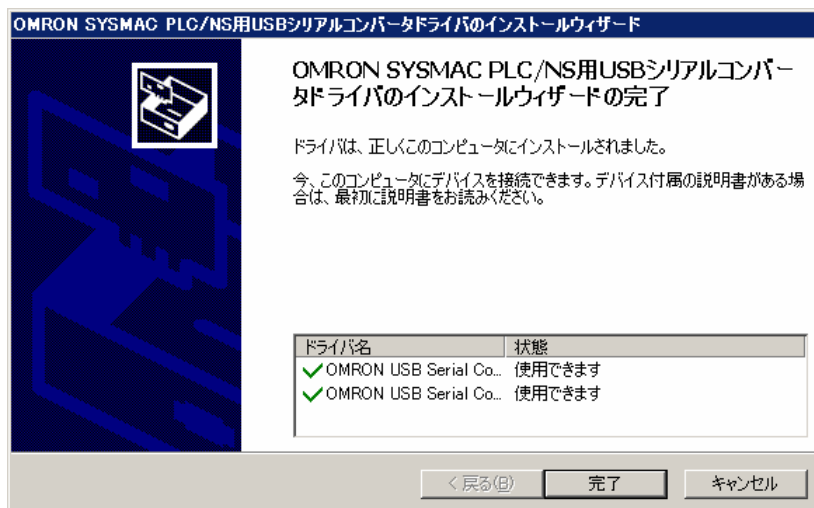
2-1 CX-One のインストール

2-1-2 CX-One をインストールする

24. 以下のメッセージダイアログボックスが表示されます。
[続行]をクリックします。



25. USB デバイスドライバのインストールが完了すると、以下のダイアログボックスが表示されます。

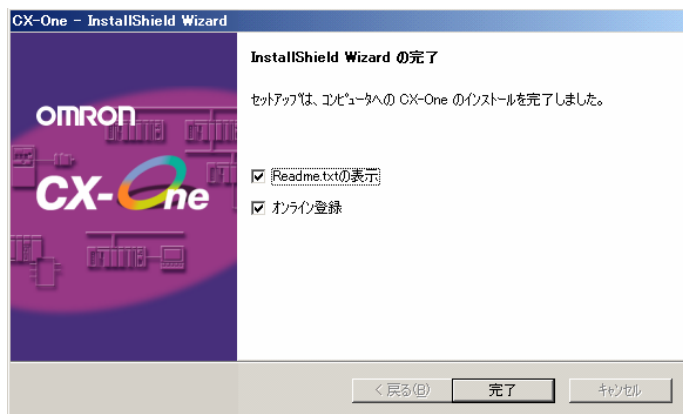


- [完了]ボタンをクリックします。
CX-One のインストールが続行されます。

26. ディスク差替えを促すダイアログボックスが表示されたら、メッセージにしたがってインストールディスク (CD-ROM) を入れ替えて、[OK]ボタンをクリックします。

※DVD-ROM の場合は表示されません。

27. CX-One のインストールが完了すると、以下のダイアログボックスが表示されます。

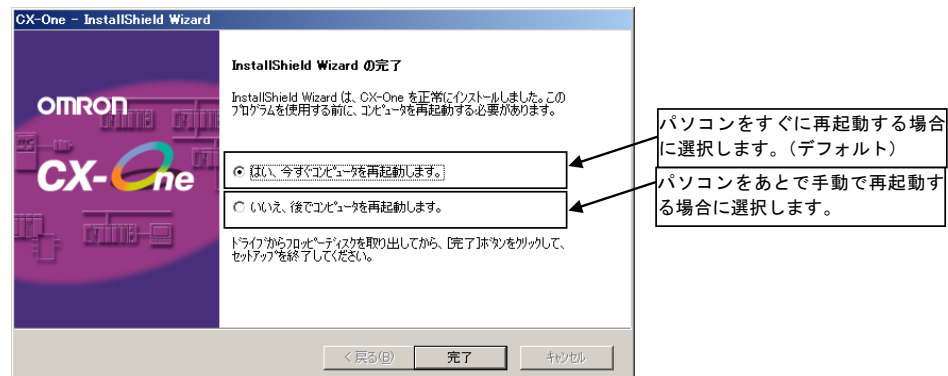


- [完了]ボタンをクリックします。
「Readme ファイル」が表示されます。

2-1 CX-One のインストール

2-1-2 CX-One をインストールする

パソコンの再起動が必要な場合、以下のダイアログボックスが表示されます。



[完了]ボタンをクリックします。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックが入っている場合、パソコンの再起動後、「Readme ファイル」が表示されます。

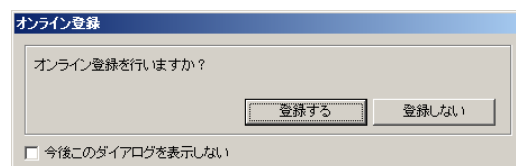
お願い

インストール後は、**Windows** の再起動が必要な場合があります。必要に応じてインストールウィザードのメッセージにしたがって再起動してください。

お願い

CX-One を使用する前に必ず、「**Readme ファイル**」をお読みください。

28. 「Readme ファイル」を閉じると、[オンライン登録]ダイアログボックスが表示されます。



[登録する]ボタンをクリックすると、ブラウザが起動して、「オムロン CX-One Web サイト」へ接続します。(*1)(*2)

*1: [登録しない]ボタンをクリックして、オンライン登録をキャンセルした場合、CX-One 構成周辺ツールを起動するたび、[オンライン登録]ダイアログボックスが表示されます。

*2: パソコンがインターネットに接続できない環境など、オンライン登録しない場合は、付属のユーザ登録はがきに必要事項を記入の上、郵送してください。

以上で、CX-One のインストールは完了です。

参考

CX-One 構成周辺ツールの旧バージョンの周辺ツールを削除した後も、**C:\¥Program Files¥OMRON** のディレクトリには、以前インストールしてあった周辺ツールのフォルダは残ったままになっています。デフォルトでは、このフォルダ内には、各周辺ツールで作成したプロジェクトファイルなどが保存されています(例: **CX-Programmer** の場合、プロジェクトファイル (*.cpx) など)。

CX-One で引き続きそのデータを使用する場合、**CX-One** インストール後、旧周辺ツールのフォルダを任意のフォルダに移動することをお勧めします。

参考

CX-One がサポートしている周辺ツール、通信ミドルウェア以外は、**CX-One** をインストールしても、そのままパソコンのハードディスク内に残ります。**CX-One** と混在しても、使用上問題ありません。

例) ・ **DeviceNet Configurator** (周辺ツール)
・ **FinsGateWay** (通信ミドルウェア)

2-2 CX-One のメンテナンス

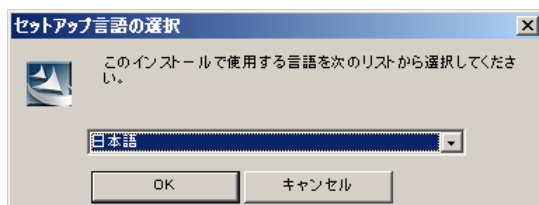
すでに CX-One がインストールされている場合、以下のメンテナンスが可能です。

- (1) CX-One の構成周辺ツールを個別に再インストール
- (2) CX-One の構成周辺ツールをすべてアンインストール

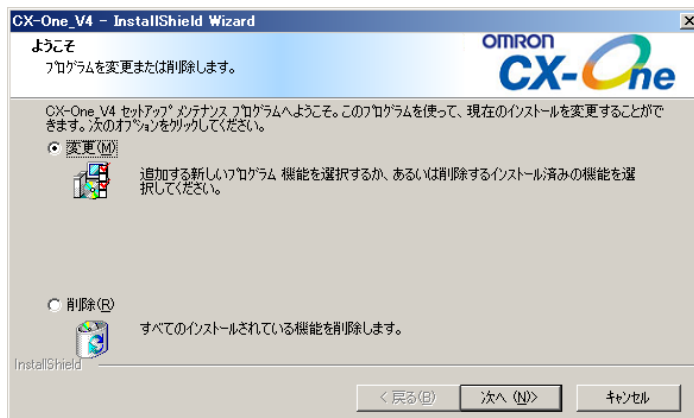
2-2-1 CX-One 構成周辺ツールを個別に選択して再インストールする場合

CX-One の構成周辺ツールの内容を変更して、CX-One を再インストールする場合は、以下の手順で行います。

1. CX-One のインストールディスク（DVD）をパソコンの DVD ドライブに挿入します。
2. [セットアップ言語の選択]ダイアログボックスが表示されます。自動的にパソコンが使用している OS の言語が選択されます。
インストールする言語を確認して、[OK]ボタンをクリックします。



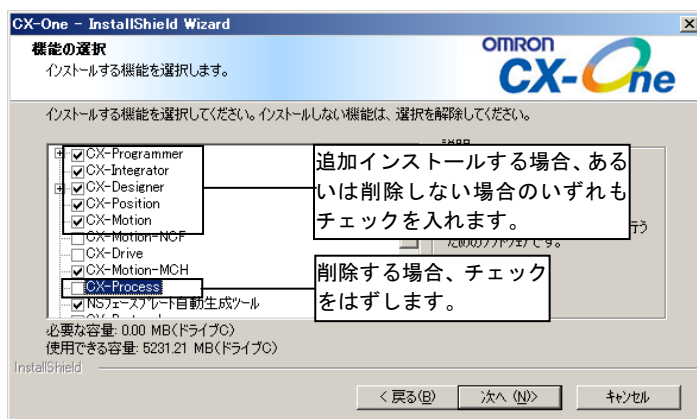
3. CX-One スプラッシュ画面が表示され、CX-One の再インストールが開始されます。
4. CX-One メンテナンスウィザードが表示されます。
[変更]ラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]ボタンをクリックします。



2-2 CX-One のメンテナンス

2-2-1 CX-One 構成周辺ツールを個別に選択して再インストールする場合

5. [機能の選択]ダイアログボックスが表示されます。
パソコンにインストールされている CX-One の構成内容を、チェックボックスで変更します。このチェックボックスの内容で CX-One が再インストールされます。



- ・追加したい周辺ツールの場合：チェックを入れてください。
- ・すでにインストールしてあり、削除しない周辺ツール：チェックを入れてください。
- ・削除する周辺ツール：チェックをはずしてください。

以下のツールはメンテナンスから個別に再インストールすることができません。

- ・ CX-Integrator
- ・ CX-Designer
- ・ CX-Protocol
- ・ Network Configurator
- ・ CX-ConfiguratorFDT

お願い

ここでチェックをはずした周辺ツールは、それがすでにインストール済みでも、削除されますので、ご注意ください。

[次へ]ボタンをクリックします。

チェックボックスで選択した構成内容で、CX-One が再インストールされます。
インストールウィザードのメッセージに従ってインストールしてください。

6. 以下のダイアログボックスが表示された場合、メッセージにしたがってインストールディスク（CD-ROM）をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、[OK]ボタンをクリックします。

※DVD-ROM の場合は表示されません。



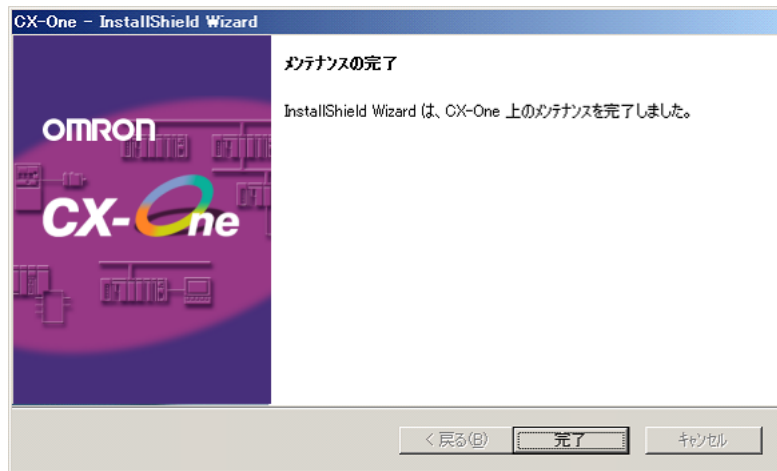
または



2-2 CX-One のメンテナンス

2-2-1 CX-One 構成周辺ツールを個別に選択して再インストールする場合

7. 再インストール完了後、以下のダイアログボックスが表示されます。
[完了]ボタンをクリックします。



2-2-2 CX-One の構成周辺ツールをすべてアンインストールする場合

既にインストールされている CX-One の構成周辺ツールをすべて削除する場合、以下の手順で行います。

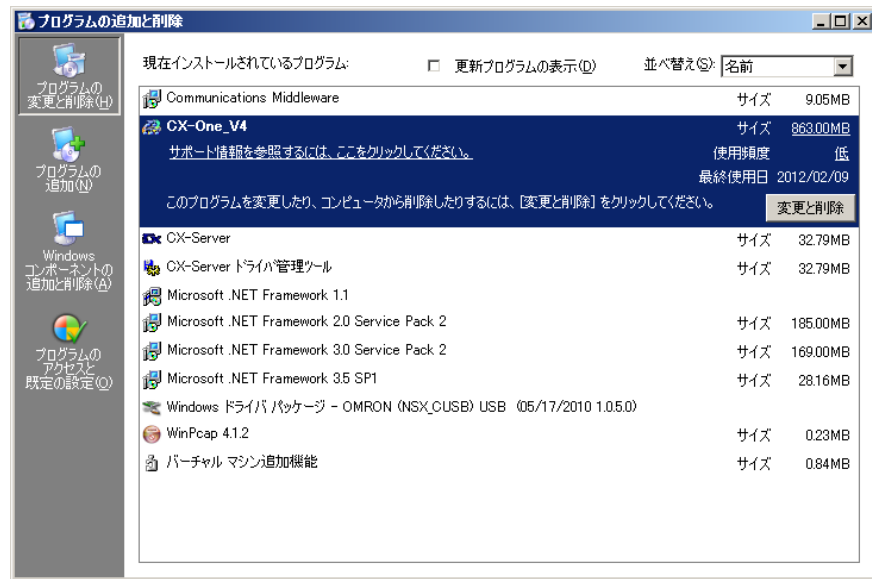
お願い

CX-One のすべての周辺ツールをアンインストールしても、**CX-Server** は削除されません。**CX-Server** を削除する場合は、別途アンインストールを実行してください。

1. [スタート]メニューから、[コントロールパネル] | [プログラムの追加と削除]の順に選択します。

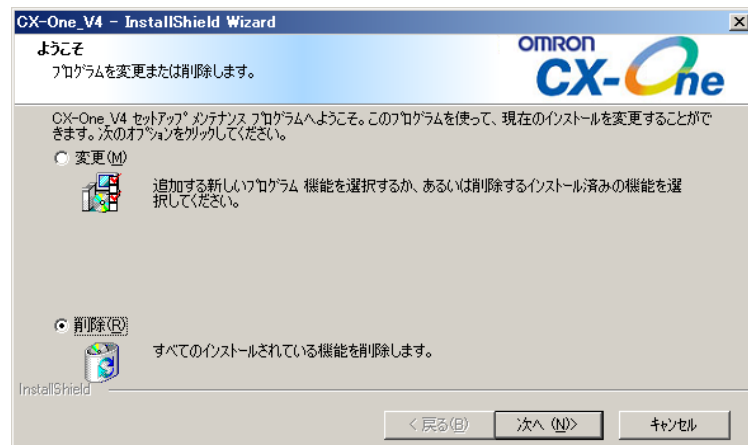
[プログラムの追加と削除]ダイアログボックスが表示されます。

※：Windows Vista 以降は、[プログラムと機能]または[プログラムのアンインストール]を選択してください。



CX-One_V4 を選択して、[変更と削除]ボタンをクリックします。

2. CX-One インストールウィザードが表示されます。
[削除]ラジオボタンを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



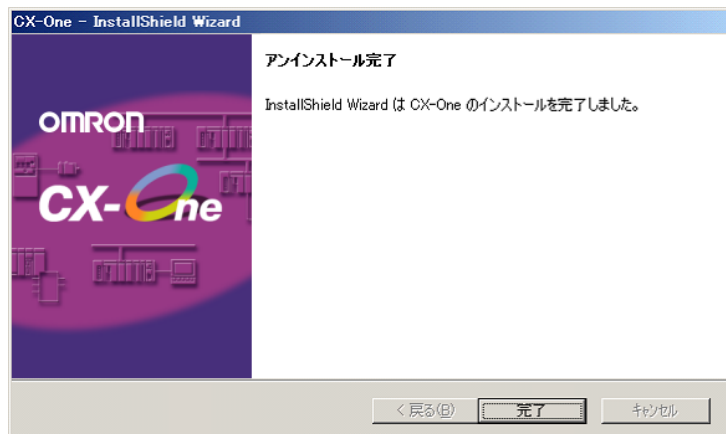
2-2 CX-One のメンテナンス

2-2-2 CX-One の構成周辺ツールをすべてアンインストールする場合

3. CX-One の完全削除を確認する以下のダイアログボックスが表示されます。
[はい]ボタンをクリックすると、CX-One を削除するアンインストーラが起動します。
ダイアログボックスのメッセージにしたがって、CX-One を削除してください。



4. アンインストールが完了すると、以下のダイアログボックスが表示されます。
[完了]ボタンをクリックします。



2-2-3 CX-Server をアンインストールする場合

CX-Server ドライバ管理ツール→CX-Server の順序でアンインストールを実行してください。

お願い

アンインストールする周辺ツールの他に、**CX-Server** を通信ドライバとして使用する周辺ツール（**CX-Programmer** など）がパソコンにインストールされている場合は、**CX-Server** をアンインストールしないでください。他の周辺ツールが使用できなくなります。

お願い

CX-Server を通信ドライバとして使用する周辺ツール（**CX-Programmer** など）を起動した状態でアンインストールしないでください。正常にアンインストールが行われない場合があります。

お願い

CX-Server 関連ソフトウェアをすべてアンインストールする場合は、**CX-Server** ドライバ管理ツールを先にアンインストールしてから **CX-Server** をアンインストールしてください。先に **CX-Server** をアンインストールすると、**CX-Server** ドライバ管理ツールのアンインストールが正常に行われない場合があります。

2

インストールとアンインストール

1. [スタート]メニューから[設定] | [コントロールパネル] | [プログラムの追加と削除※]の順に選択します。

[プログラムの追加と削除]ダイアログボックスが表示されます。

※：Windows Vista 以降は、[プログラムと機能]または[プログラムのアンインストール]を選択してください。



「CX-Server ドライバ管理ツール」を選択して、[変更と削除]ボタンをクリックします。

2. 以下の[ファイル削除の確認]ダイアログボックスが表示されます。
[はい]ボタンをクリックします。

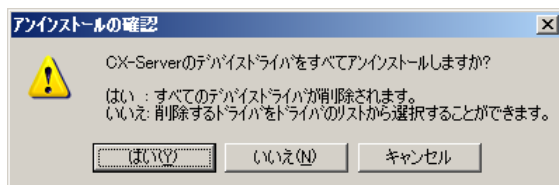


「CX-Server ドライバ管理ツール」のアンインストールが実行されます。

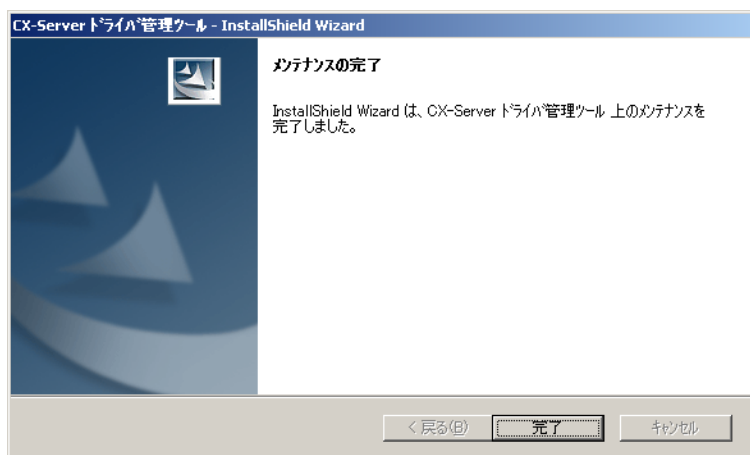
2-2 CX-One のメンテナンス

2-2-3 CX-Server をアンインストールする場合

- 再度以下の[アンインストールの確認]ダイアログボックスが表示されます。
[はい]ボタンをクリックします。



- アンインストールが実行されます。
アンインストール完了後、以下のダイアログボックスが表示されます。
[完了]ボタンをクリックすると、[アプリケーションの追加と削除]ダイアログボックスに戻ります。



- 同様に、「CX-Server」を選択して、[変更と削除]ボタンをクリックし、アンインストールします。手順2～手順4の操作を行います。
- アンインストールを完全に行うため、最後に、必ずパソコンを再起動してください。

第 3 章

オートアップデートによる アプリケーションの アップグレード

3-1 概要

3-1-1 オートアップデートとは

CX-One オートアップデートは、インターネットを使用して、CX-One に含まれる周辺ツールを最新の状態にすることができるシステムです。

CX-One オートアップデートを使用すると、現在インストールされている CX-One 周辺ツールに適用できる最新のアップデートが自動的に検索されます。

検索されたアップデートをインストールすることにより、パソコンにインストールされた CX-One を最新の状態にすることができます。

- ・オートアップデート機能は、CX-One をインストールすると自動的に利用可能になります。
- ・オートアップデート機能は、CX-One Ver.2.0 以降のバージョンで 사용할 ことができます。

3-2 オートアップデートの実施

3-2-1 オートアップデート実施する前に

■ オートアップデートを実施前の確認事項

オートアップデートを開始する前に、以下の点をご確認ください。

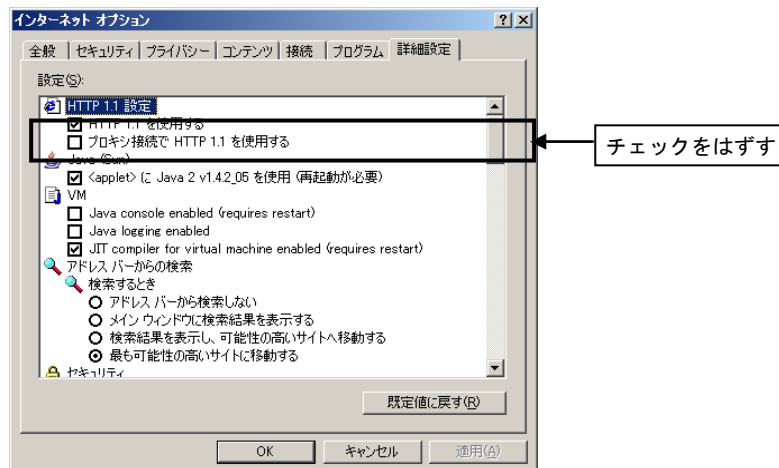
- ・ Windows のログオンユーザは、アドミニストレータかアドミニストレータ権限のあるユーザでログインしてください。
- ・ 全ての Windows プログラムを終了してください。
- ・ インターネットに接続した状態にしてください。

お願い

プロキシサーバを使用している場合、アップデートのダウンロードに失敗したり、アップデートのサイズが「不明」になることがあります。
そのような場合は、以下の設定を行ってください。

例：Internet Explorer5.01 以上を使用時

1. [スタート] | [設定] | [コントロールパネル]を選択して、[インターネットオプション]をダブルクリックします。
2. 詳細設定タブにある、「プロキシ接続で HTTP1.1 を使用する」のチェックボックスのチェックをはずします。



3-2 オートアップデートの実施
3-2-2 オートアップデートの開始

3-2-2 オートアップデートの開始

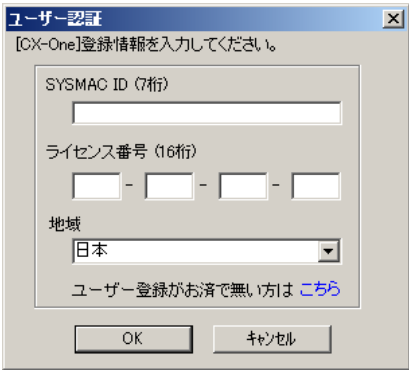
1. [スタート] | [プログラム] | [OMRON] | [CX-One] | [OMRON Automation Software AutoUpdate]を選択します。
OMRON Upgrade Utility のバージョンアップを知らせるダイアログが表示されることがあります。
[OK]ボタンをクリックしてください。



2. アップデートが検索されます。

3. 初めてオートアップデートを実施する場合、ユーザ認証画面が表示されます。
以下の項目を入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。
一度アップデートをインストールすると次回以降のオートアップデート時には表示されません。

項目名	内容
ユーザーID (7桁)	購入後に登録した SYSMAC ID を入力してください。
ライセンス番号 (16桁)	購入した CX-One のライセンス番号を入力してください。
地域	購入した地域をリストから選択してください。 ・ 日本 ・ ヨーロッパ・アフリカ・中東 ・ 北アメリカ・南アメリカ ・ 中国 ・ 台湾 ・ 韓国 ・ 東南アジア・インド・パシフィック



3-2 オートアップデートの実施

3-2-2 オートアップデートの開始

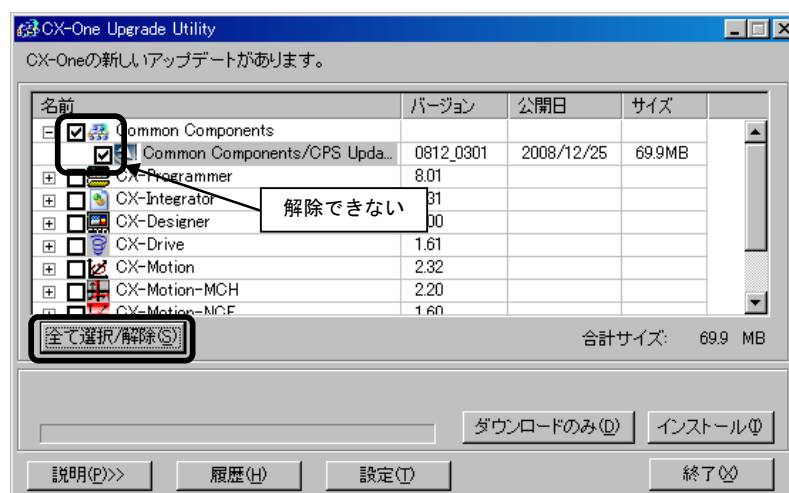
4. OMRON Automation Software Upgrade Utility が起動し、インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。

 をクリックすることにより、アプリケーションに適用可能なアップデートを表示することができます。

名前	バージョン	公開日	サイズ
  Common Components			
  Common Components/CPS Upda...	0810_0301	2008/10/31	69.9MB
  CX-Programmer	8.01		
  CX-Integrator	2.31		
  CX-Designer	3.00		

- 初期状態では全てのチェックボックスがチェックされています。
[全て選択/解除]ボタンをクリックすると、全選択と解除を繰り返すことができます。

ただし、共通モジュールについては解除することができません。



* 共通モジュールは解除できません。

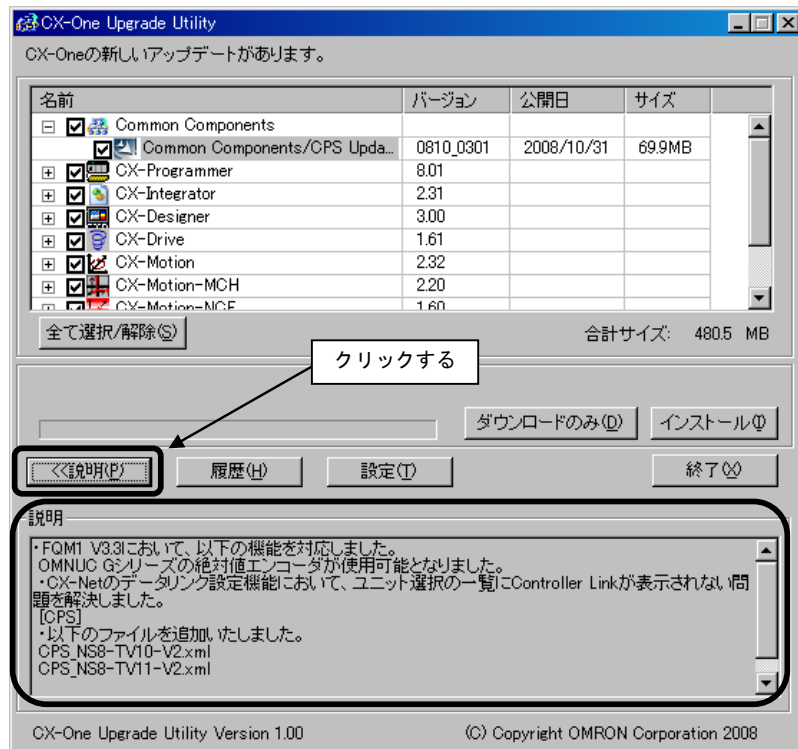
3

オートアップデートによるアプリケーションのアップグレード

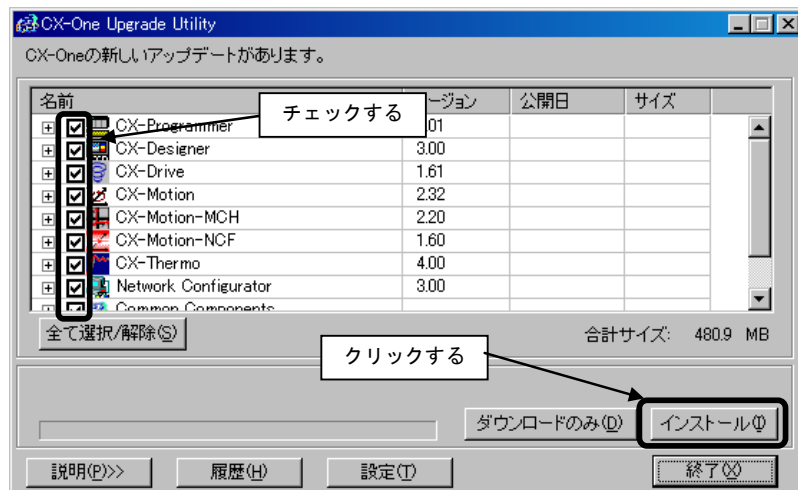
3-2 オートアップデートの実施

3-2-2 オートアップデートの開始

5. アップデートを選択した状態で[説明]ボタンをクリックするとアップデートの説明文が表示されます。



6. 適用したいアップデートのチェックボックスにチェックを入れた状態で、[インストール]ボタンをクリックします。



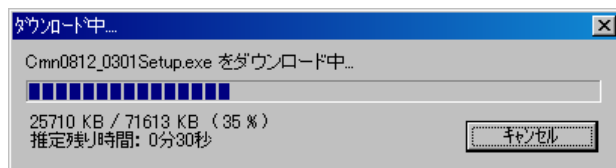
* 表示されるアップデートは、パソコンにインストールされている CX-One のバージョンや個別のアプリケーションによって異なります。

- ・[ダウンロードのみ]ボタンをクリックすると、アップデート用のファイルをパソコン上に保存し、あとでアップデートを実施することができます。
詳細は後述の「アップデート用のファイルのみダウンロードする」を参照してください。

3-2 オートアップデートの実施

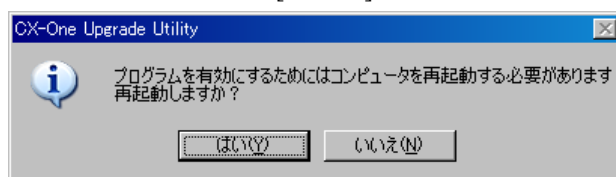
3-2-2 オートアップデートの開始

7. [インストール]ボタンのクリックにより、選択されたアップデートがダウンロードされます。
- (複数のアップデートを選択した場合は、リストの順にひとつずつダウンロードされます)



ダウンロードが完了すると自動的にインストールが開始されます。

8. 全てのインストールが完了すると、再起動の確認画面が表示されます。
- [はい]ボタンをクリックして、コンピュータを今すぐ再起動してください。
- 後で再起動する場合は[いいえ]ボタンをクリックします。



3-2 オートアップデートの実施

3-2-2 オートアップデートの開始

■ アップデート用のファイルのみダウンロードする

アップデートの方法として、アップデート用のファイル（以後アップデートファイルと呼びます）をパソコン上に保存し、アップデートを後から実施することができます。また、アップデートファイルをコピーすることで、ネットワークに接続されていないパソコンにインストールされている CX-One をアップデートすることもできます。

1. OMRON Automation Software Upgrade Utility で適用可能なアップデートの一覧が表示されているとき、ダウンロードしたいアップデートにチェックを入れ、[ダウンロードのみ]ボタンをクリックします。



*：複数のアップデートを選択してダウンロードすることも可能です。

2. フォルダの参照ウィンドウが表示されます。
アップデートファイルの保存先を選択し[OK]ボタンをクリックすると、アップデートファイルのダウンロードが開始されます。
アップデートファイルのダウンロードが完了すると、CX-One Upgrade Utility にダウンロード完了のメッセージが表示されます。
3. パソコンにダウンロードしたアップデートファイルをダブルクリックすると、アップデートのインストールが開始されます。
画面の指示に従いインストールを実施してください。

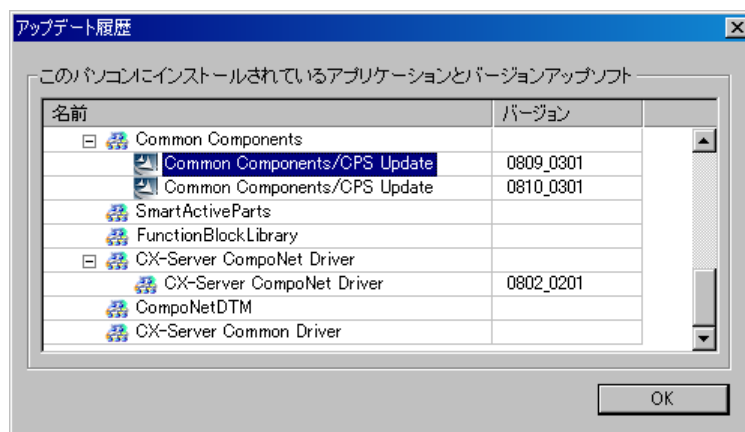
*： アップデートをインストールしない場合、再び適用可能なアップデートとして表示されます。
インストールが完了した後は、アップデートファイルを削除してもかまいません。

3-2-3 アップデート結果の確認

アップデートの結果は、以下の方法で確認することができます。

OMRON Automation Software Upgrade Utility の「履歴」ボタンをクリックすると、パソコンにインストールされているアプリケーションと適用済みのアップデートの一覧が表示されます。

それぞれのバージョン番号を確認することができます。



3-2 オートアップデートの実施

3-2-4 CX-One (アップデート版) のアンインストール

3-2-4 CX-One (アップデート版) のアンインストール

オートアップデートでアップデートした CX-One は、以下の手順によりアップデート前の状態に戻すことができます。

1. 以下のプログラムをアンインストールします。
 - ・ CX-One、CX-Server
 - ・ CX-Server ドライバ管理ツール
2. CX-One をアンインストールします。
3. CX-One のアンインストール後、CX-One を再インストールします。

3-3 オートアップデートの定期通知機能

定期的にアップデートの有無をチェックし、新しいアップデートのリリースを検出して通知します。

3-3-1 オートアップデートの定期通知機能を有効にする

オートアップデートの定期通知機能は、CX-One のインストール後は無効になっています。以下の手順により、オートアップデートの定期通知機能を有効にします。アップデート定期通知の有効/無効と、実行スケジュールを設定します。

1. [スタート] | [プログラム] | [OMRON] | [CX-One] | [OMRON Automation Software AutoUpdate]を選択し OMRON Automation Software Upgrade Utility を起動します。
2. [設定]ボタンをクリックします。



3. 定期通知機能の設定画面が表示されます。
アップデートの定期通知機能を有効にするときにはチェックボックスにチェックをつけ、実行スケジュールを設定します。
(アップデートの定期通知機能を無効に戻す場合は、チェックをはずします。)
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



3-3 オートアップデートの定期通知機能

3-3-2 アップデートの通知

3-3-2 アップデートの通知

オートアップデートの定期通知機能を有効にすると、設定期間が経過した最初のログイン時に最新のアップデートの有無を検索します。

適用可能なアップデートが見つかった場合、OMRON Automation Software Upgrade Utility が起動されます。適用可能なアップデートが見つからなかった場合は何も通知されません。

付録

付-1 CX-One Lite について

付-1-1 CX-One Lite とは

CX-One Lite（形 CXONE-LT□□□-V□）は、CX-One に含まれる全ツールから、マイクログ PLC アプリケーションに必要なツールのみを選定したパッケージです。

PLC 機種としては、CP シリーズ、および C シリーズの中の CPM□□/SRM1 のみが可能です。

付-1-2 CX-One Lite 構成品のご確認

■ CX-One Lite Ver.4.□の形式

品名	形式	インストール可能な周辺ツール		同梱データ一覧
CX-One Lite Ver.4.□	形 CXONE-LT□□□-V4	・ CX-Programmer	Ver.9.□	・ Smart FB ・ Smart Active Parts (SAP) ・ CPS ・ マニュアル (PDF)
		・ CX-Integrator	Ver.2.□	
		・ CX-Simulator	Ver.2.□	
		・ CX-Designer	Ver.3.□	
		・ NV-Designer	Ver.2.□	
		・ CX-Drive	Ver.3.□	
		・ CX-Thermo	Ver.4.□	
		・ Network Configurator	Ver.3.□	
		・ CX-ConfiguratorFDT	Ver.3.□	
		・ NX-IO Configurator	Ver.1.□	
		・ CX-Server	Ver.5.□	
		・ SwitchBox Utility	Ver.1.□	

付-1-3 CX-One Lite で使用できる PLC 機種とパソコン

■ 使用できる PLC 機種

以下の PLC 機種に対応しています。

シリーズ		CPU ユニット形式
CP シリーズ		形 CP1H-XA□□D□-□ 形 CP1H-X□□D□-□ 形 CP1H-Y□□D□-□ 形 CP1L-M□□D□-□ 形 CP1L-L□□D□-□ 形 CP1L-EL□□□□-□/EM□□□□-□ 形 CP1E-E□□D□-□ 形 CP1E-N□□D□-□ 形 CP2E-E□□D□-□ 形 CP2E-S□□D□-□ 形 CP2E-N□□D□-□
	C シリーズ	CPM2* 形 CPM2A-20CD / 30CD / 40CD / 60CD 形 CPM2C-10CD / 10C1D / 20CD / 20C1D / 32CD
		CPM2*-S* 形 CPM2C-S100C/110C 形 CPM2C-S110C-DRT
		CPM1/CPM1A 形 CPM1(A)-10CDR/20CDR/30CDR/40CDR (-V1) 形 CPM1A-10CDT/20CDT/30CDT/40CDT (-V1) 形 CPM1A-10CDT1/20CDT1/30CDT1/40CDT1 (-V1)
		SRM1 形 SRM1-C01/C02 (-V1) (-V2)

■ 使用できるパソコン

CX-One の動作環境と同じになります。

CX-One の動作環境については、1-4-1 項「システム要件」を参照してください。

付-1-4 CX-One Lite 構成周辺ツールの必要容量

CX-One Lite 構成周辺ツール	ハードディスク 使用容量目安	備考
CX-Programmer	約 330MB	チェックボックスを選択して 個別インストール可能です。
CX-Drive	約 200MB	
NV-Designer	約 150MB	
CX-Simulator	約 45MB	
CX-Thermo	約 200MB	
NX-IO Configurator	約 120MB	
Switch Box Utility	約 5MB	必ずインストールされます。
CX-Integrator	約 260MB	
CX-Designer	約 750MB	
Network Configurator	約 40MB	
CX-ConfiguratorFDT	約 60MB	
CX-Server、および PLC Tools	約 750MB	

お願い

CX-One Lite をインストールするには、上記のハードディスク容量以外に、**.NET Framework** をインストールするだけのハードディスク空き容量（**1.2GB** 以上）が必要になります。

CX-One Lite 構成周辺ツールを全てインストールした場合、必要なパソコンのハードディスクの空き容量は、約 **3.5GB** です。インストール時にはこのほかにワーク領域も必要になります。

インストールの際は、パソコンのハードディスクの空き容量にご注意ください。

付-1-5 CX-One Lite のインストール

CX-One Lite のインストール手順は、CX-One と同じになります。

CX-One のインストールについては、2 章「インストールとアンインストール」を参照してください。

付-1 **CX-One** Lite について
付-1-5 CX-One Lite のインストール

付

付
録

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先



0120-919-066

携帯電話・IP電話などではご利用いただけませんので、右記の電話番号へおかけください。

055-982-5015
(通話料がかかります)

受付時間：9:00～19:00(12/31～1/3を除く)

クイック オムロン



オムロンFAクイックチャット

www.fa.omron.co.jp/contact/tech/chat/

技術相談員にチャットでお問い合わせいただけます。(I-Webメンバーズ限定)

受付時間：平日9:00～12:00 / 13:00～17:00(土日祝日・年末年始・当社休業日を除く)

※受付時間、営業日は変更の可能性がございます。最新情報はリンク先をご確認ください。



その他のお問い合わせ：納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。



オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。緊急時のご購入にもご利用ください。 www.fa.omron.co.jp

- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物(又は技術)に該当するものを輸出(又は非居住者に提供)する場合は同法に基づく輸出許可、承認(又は役務取引許可)が必要です。

オムロン商品のご用命は